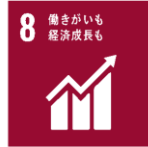


桜島自然体験アクティビティ施設導入 基本計画(案)

令和7年3月

鹿児島市

目指す主な SDGs のゴール



目 次

1 計画の目的.....	1
2 事業計画地の概要.....	2
2.1 計画地の位置と範囲.....	2
2.2 計画地の概要.....	3
3 観光動向.....	5
3.1 統計・ヒアリング調査.....	5
3.2 桜島 WEB アンケート調査.....	13
4 法規制及び上位計画の確認.....	17
4.1 自然公園法.....	17
4.2 上位計画.....	19
5 整備コンセプト.....	27
5.1 導入機能と施設イメージ.....	28
5.2 土地利用イメージ.....	29
6 観光拠点のアクティビティ及び整備イメージ.....	30
6.1 既存アクティビティの確認.....	30
6.2 事業のスケジュールと進め方のイメージ.....	33
7 用語解説.....	34

1 計画の目的

桜島は、わが国初の国立公園のひとつである霧島錦江湾国立公園に位置し、標高 1,117 メートル、周囲 52 キロメートルの、錦江湾に浮かぶ活火山であり、鹿児島のシンボルとして、また、気軽に活火山を間近で体験できる観光地として人気の高いエリアとなっている。

鹿児島市では、コロナ禍で落ち込んだ観光消費の改善、また、地域のシンボルとなる桜島の活性化に向けて、市の主要観光地としての再生・高付加価値化に向けた検討を進めている。

本計画は、活火山桜島の魅力を体感し、その自然を活かしたアクティビティについて、今後の整備に向けた基本的な方向を示すことを目的とする。

桜島位置



Copyright © NTTインフラネット株式会社 All Rights Reserved.

図 桜島位置図

2 事業計画地の概要

2.1 計画地の位置と範囲

事業計画地は、令和4年度に実施した調査に基づき、鶴崎灰捨場跡地を選定した。範囲は約3.5ha(約35,000 m²)を基本とし、拡張する場合は活用可能最大範囲として約6.6ha(約66,000 m²)を想定する。

なお、桜島フェリーターミナルからは、移動距離約1.5kmで、移動時間の目安としては徒歩20分、車4分と考えられる。



計画地内の平地（灰捨て場）



海岸から望む錦江湾と鹿児島市街地



計画地内の既存散策路



図 事業計画地

copyright © NTTインフラネット株式会社 All Rights Reserved.
※上記は不動産登記の範囲とは一致しない概ねの敷地範囲を示す。
※今後の検討状況によって、事業計画地の範囲を変更する可能性がある。

2.2 計画地の概要

表 計画地の概要

所在地	鹿児島市桜島横山町
敷地面積	鶴崎灰捨場跡地：約 35,000 m ²
所有者	鹿児島市
都市計画関連	都市計画区域外
建蔽率・容積率	指定なし
法令に基づく制限	○自然公園法 ○景観計画区域（桜島ゾーン） ○都市計画法 ○森林法
供給施設情報	○電気：九州電力（敷地外の車道等から引廻しが必要） ○給水：上下水道局（敷地外の車道等から引廻しが必要） ○排水：浄化槽（整備要） ○電話：NTT（敷地外の車道等から引廻しが必要） ○敷地内に温泉の引廻しの可能性あり
その他整備条件	○もともと火山灰の堆積場のため地盤改良が必要となる可能性あり。
計画地の状況	
土地利用	灰捨場となっていたが、現在は剪定枝の仮置き場等、維持管理バックヤードとして活用している。
地 形	海辺に近接し平地が広がっている。
植物・植生	剪定枝の仮置き場として使用している場所以外は、自生の中低木やつる性植物（葛）が繁茂し立ち入れない状況となっている。
景 観	既存展望施設から桜島の山頂がよく見える。 海辺に近づくことができ、海辺を感じながら対岸の鹿児島市も一望できる。
その他特徴	<ul style="list-style-type: none"> ・平地は広く拡張性が高い。 ・大正噴火で新たに形成された溶岩地帯。 ・フェリーターミナルからのアクセスの際に高低差がなく近い。 ・溶岩なぎさ遊歩道からのアクセスも可能である。

(参考:令和4年度調査)

令和4年度に候補地に係る調査を実施し、「桜島ユース・ホテル跡地」「鶴崎灰捨場跡地」「赤水展望広場」を比較検討した結果、特に以下の項目について優位であった鶴崎灰捨場跡地を選定した。

● 鶴崎灰捨場跡地について

比較検討項目	鶴崎灰捨場跡地の優位性
法規制	自然公園法上、既に公園事業として計画されている
視認性	海沿いの散策路や錦江湾及び鹿児島市街地からの視認性が高い
アクセス性	高低差も少なく、遊歩道も整備され徒歩でのアクセス性が高い
景観性	桜島や錦江湾の眺望が確保されている
敷地規模	敷地規模の拡張性が高く事業性のある運営が可能となる
アクティビティ	拡張性のある敷地や海辺に近接しているため魅力的なアクティビティの展開が可能となる
源泉との近接性	ニーズの高い温泉を取り込むことで、事業性のある運営が可能となる
周辺観光施設との連携性	既存観光施設と近く連携しやすく、相乗効果が期待できる

● 桜島ユース・ホテル跡地について

インフラや地盤の問題はないものの、敷地面積が限られていることや眺望が確保しにくいこと、他のアクティビティとの連携などを考慮すると、活用は難しい。

● 赤水展望広場について

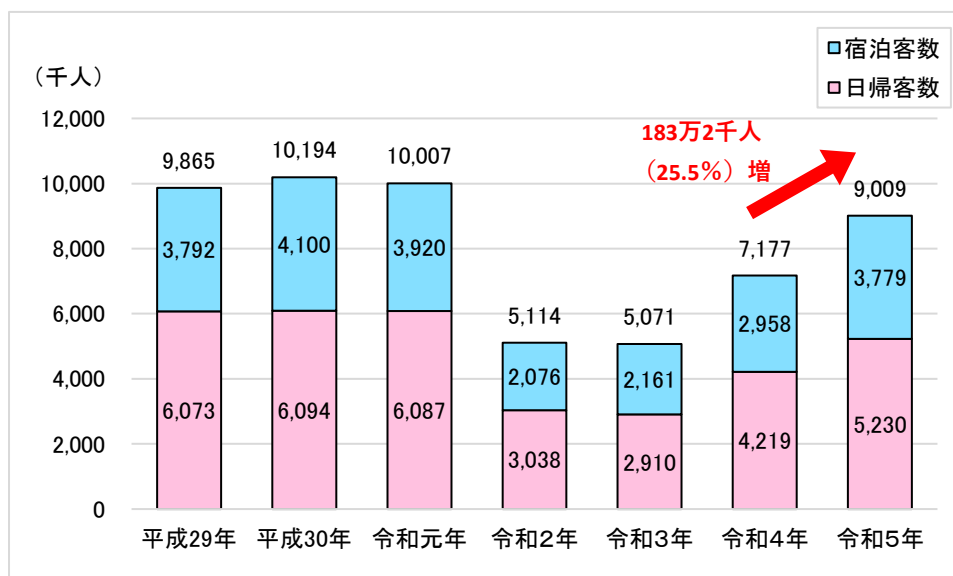
敷地は拡張性があるが、インフラの整備が必要であることや土石流を排出する河口に隣接していること、徒歩でのアクセスがしにくいことなどから活用は難しい。

3 観光動向

3.1 統計・ヒアリング調査

3.1.1 鹿児島市の観光動向

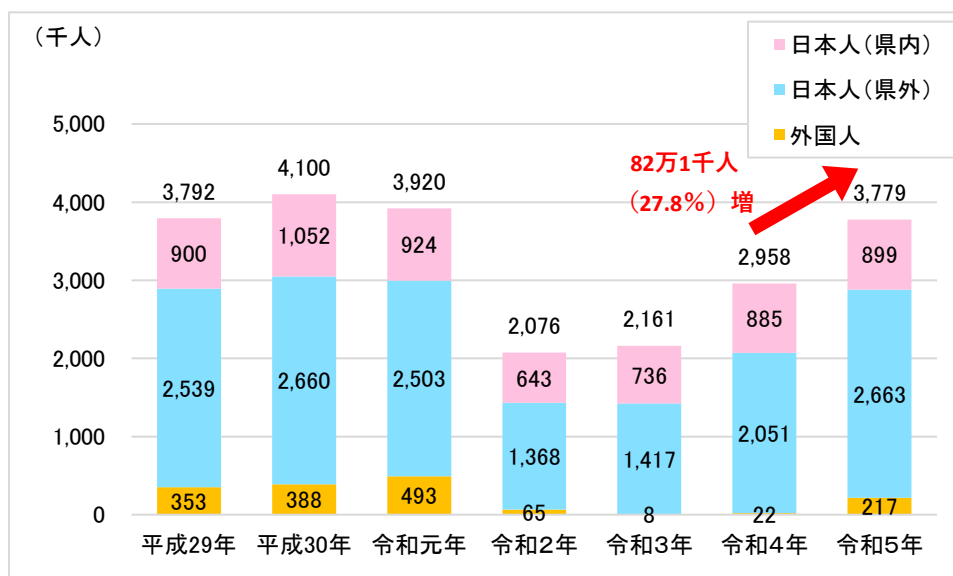
令和5年の鹿児島市の総観光客数は、900万9千人で、**前年に比べ183万2千人増(前年比25.5%増)**となった。



資料: 令和5年 鹿児島市観光統計

図 鹿児島市 総観光客数の推移

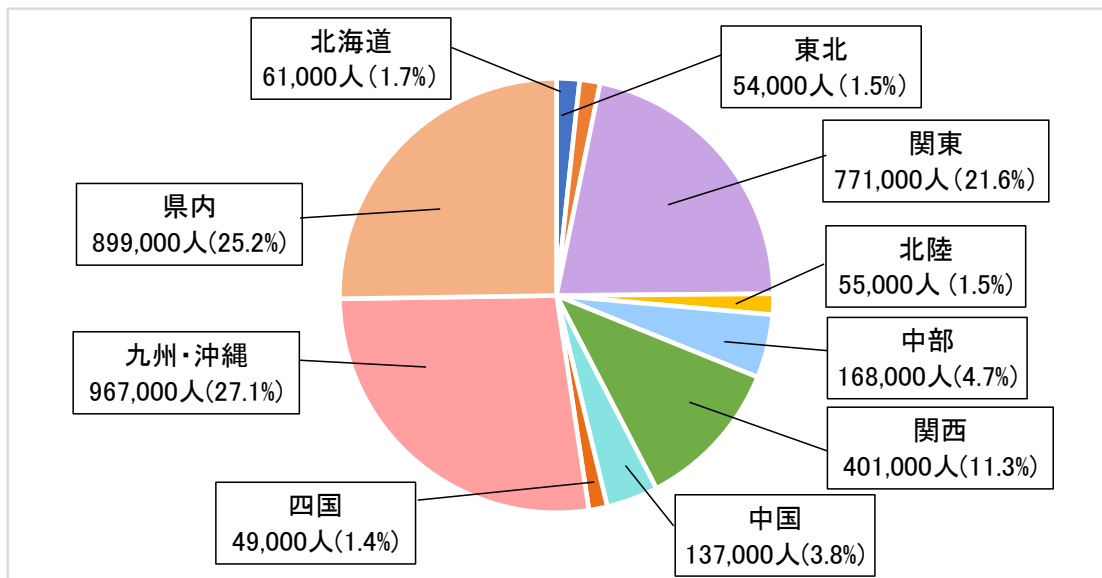
令和5年の鹿児島市の宿泊観光客数は、377万9千人で、**前年に比べ82万1千人増(前年比27.8%増)**となった。



資料: 令和5年 鹿児島市観光統計

図 鹿児島市 宿泊観光客数の推移

宿泊観光客数を発地別に見ると、九州・沖縄地区 96 万 7 千人(構成比 27.1%)が最も多く、次いで県内 89 万 9 千人(同 25.2%)、関東地区 77 万 1 千人(同 21.6%)と続き、この 3 地区で全体の約 74.0%を占めている。



資料: 令和 5 年 鹿児島市観光統計

図 鹿児島市 宿泊観光客の発地割合

1 人 1 泊あたりの観光消費額は、前年に比べ 1,100 円増の 24,600 円であった。

(単位: 円)

区分	年度	平成 29年度	平成 30年度	令和 元年度	令和 2年度	令和 3年度	令和 4年度	令和 5年度
1人1泊あたりの観光消費額		22,400	26,100	28,500	20,500	24,100	23,500	24,600
対前年比		—	116.5%	109.2%	71.9%	117.6%	97.5%	104.7%

※令和 2 年については、新型コロナウイルス感染症の影響により令和 3 年 2、3 月に調査を実施

※令和 3 年については、令和 3 年 10、11 月に調査を実施

資料: 鹿児島市観光消費額調査・マーケティング分析報告書(令和 6 年 2 月)

図 鹿児島市 宿泊観光客の 1 泊あたりの観光消費額

3.1.2 日本人宿泊客の動向

鹿児島市内の訪問観光地では、桜島が 24.5%と最も多い。また、初めて鹿児島市を訪れる観光客の 35.5%、2 回以上鹿児島市を訪れている観光客の 20.3%と、いずれも鹿児島市への訪問観光地として桜島が最も多い結果となっている。

図表-1 調査設計と回収状況（ヒアリング調査【日本人宿泊客】）

調査対象	鹿児島市内に宿泊した 16 歳以上の日本人観光客
調査方法	調査員による聞き取り調査（一部自己記入）
調査地点	JR 鹿児島中央駅（改札前）、鹿児島空港（国内線）、桜島 SA（上り）
調査期間	令和 5 年 8～9 月の 6～8 日間 JR 鹿児島中央駅（改札前） [8/26(土)・27(日)・9/2(土)・3(日)・9(土)・10(日)・16(土)・17(日)] 鹿児島空港（国内線） [8/26(土)・27(日)・9/2(土)・3(日)・9(土)・10(日)] 桜島 SA（上り） [9/2(土)・3(日)・9(土)・10(日)・16(土)・17(日)・23(土)・24(日)]
回収数	554 サンプル

- 訪問先は「桜島」「西郷隆盛像」「城山展望台」がトップ3
- 広域周遊は鹿児島市+「指宿方面」の組み合わせが主

- ▶ 鹿児島市での訪問観光地は、「桜島」（24.5%）が最も高く、次いで「西郷隆盛像」（16.1%）、「城山展望台」（15.5%）の順となっている。「その他」（20.9%）は、天文館や平川動物公園等があがっている。
- ▶ 居住地別みると、中国・四国では「仙巖園」が他の居住地と比べて高い。
- ▶ さらに、主要エリアである関東と九州・沖縄（鹿児島県以外）の性・年代別のセグメントでみると、「桜島」「仙巖園」は関東の 40・50 歳代の女性で高くなっている。
- ▶ 広域周遊の状況では、鹿児島市とあわせて「指宿方面」（26.0%）に行く人が多いが、5 割弱（46.4%）は鹿児島市内のみの観光である。（20 頁参照）

図表-2 1 鹿児島市内の訪問観光地

	調査数	桜島	城山展望台	西郷隆盛像	仙巖園	かごしま水族館	南西郷墓南洲顕彰館・	維新ふるさと館	歴史の道 維新ふるさと	その他	観光地ではないここに	無回答
全体	n=554	24.5	15.5	16.1	15.0	9.4	2.5	3.6	2.3	20.9	39.9	0.7
居住地	北海道・東北	n=17	29.4	5.9	23.5	5.9	5.9	-	5.9	5.9	5.9	-
	関東	n=156	32.7	16.7	18.6	19.2	7.7	1.9	2.6	4.5	22.4	34.6
	北陸・中部	n=94	29.8	20.2	21.3	16.0	7.4	4.3	9.6	4.3	22.3	30.9
	関西	n=91	27.5	25.3	27.5	14.3	7.7	3.3	-	1.1	18.7	36.3
	中国・四国	n=25	24.0	16.0	20.0	28.0	-	4.0	-	-	12.0	44.0
九州・沖縄（鹿児島県以外）	九州・沖縄（鹿児島県以外）	n=126	14.3	8.7	3.2	11.1	16.7	2.4	4.8	-	23.0	43.7
	鹿児島県	n=45	6.7	4.4	4.4	6.7	8.9	-	-	-	22.2	66.7
	鹿児島県	n=45	6.7	4.4	4.4	6.7	8.9	-	-	-	22.2	66.7
年齢	20歳以下	n=81	27.2	16.0	9.9	7.4	6.2	1.2	3.7	1.2	18.5	45.7
	30歳代	n=77	23.4	11.7	16.9	6.5	15.6	1.3	-	3.9	22.1	37.7
	40歳代	n=83	30.1	13.3	14.5	12.0	14.5	1.2	4.8	3.6	25.3	34.9
	50歳代	n=134	29.1	16.4	17.2	23.1	9.7	3.7	7.5	3.0	23.1	35.1
	60歳代	n=97	17.5	18.6	19.6	20.6	6.2	4.1	-	1.0	17.5	41.2
70歳代以上	n=75	18.7	17.3	18.7	14.7	4.0	2.7	4.0	1.3	17.3	45.3	
回数	トライアラー（1回目）	n=166	35.5	21.1	25.9	19.3	10.8	3.0	5.4	4.2	21.7	25.9
	リピーター（2回以上）	n=380	20.3	13.2	12.1	13.4	8.9	2.4	2.9	1.6	21.1	45.0

<市内観光地の具体的訪問地>（自由記述）

天文館 [62 件]	鶴丸城跡（御桜門） [2 件]
平川動物公園 [12 件]	慈眼寺公園、中村晋也美術館、示現流兵法所史料館、石橋記念公園、鹿児島県立博物館、鹿児島市立科学館など [各 1 件]
黎明館 [7 件]	
中央駅周辺（中央駅、アミュプラザ） [5 件]	
照國神社 [4 件]	

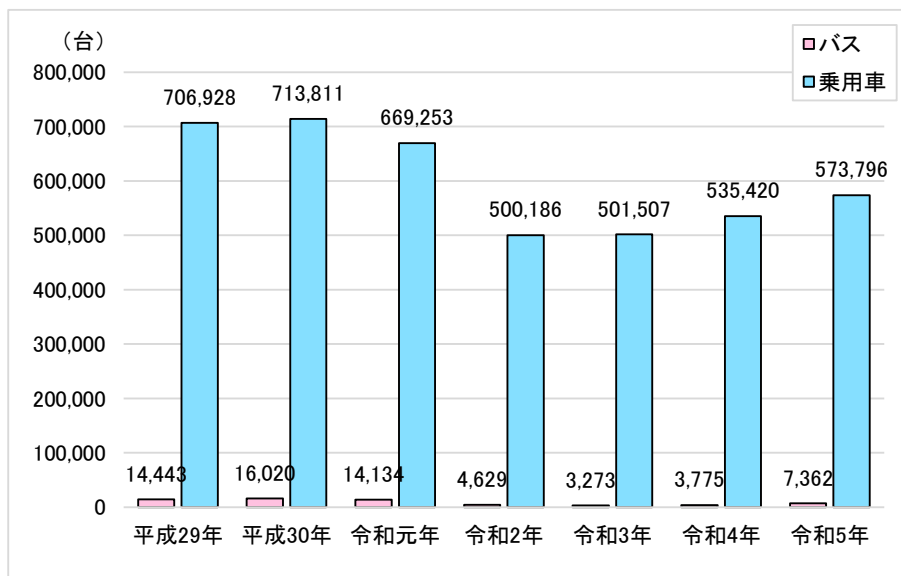
出典：鹿児島市観光消費額調査・マーケティング分析報告書（令和 6 年 2 月）

図 鹿児島市旅行行動

3.1.3 桜島地域の動向

鹿児島港と桜島を結ぶフェリーの航送量に関して、バスは令和元年までは1万4千台～1万6千台程度で推移しており、令和3年は3,300台程度(令和元年の約23%)まで減少し、**令和5年には約7,400台(令和元年の約52%)**となっている。

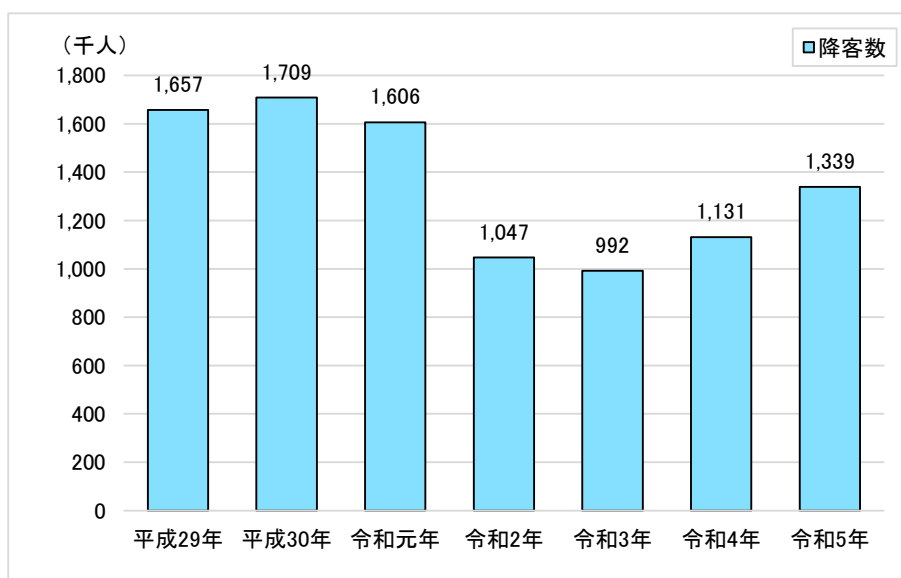
乗用車は令和元年までは70万台程度、令和2年は50万台程度(令和元年の約75%)まで減少、**令和5年には約57万台(令和元年の約86%)**となっている。



資料: 令和5年 鹿児島市観光統計

図 桜島フェリー航送量の推移

鹿児島港と桜島を結ぶフェリーの利用者数は、令和元年までは160～170万人程度で推移しており、令和3年は100万人程度(令和元年の約62%)まで減少し、**令和5年には約134万人(令和元年の約83%)**となっている。

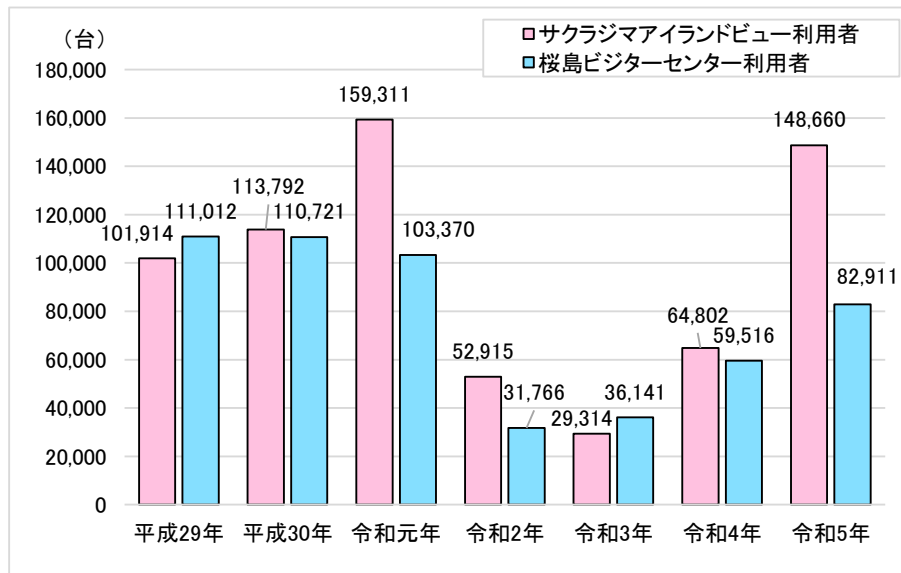


資料: 令和5年 鹿児島市観光統計

図 桜島フェリー利用者数の推移

桜島内観光施設等の利用者数について、サクラジマアイランドビュー（桜島周遊バス）は令和元年の約 16 万人をピークに減少し、令和 3 年では約 3 万人（令和元年の約 18%）まで減少し、**令和 5 年には約 15 万人（令和元年の約 93%）**となっている。

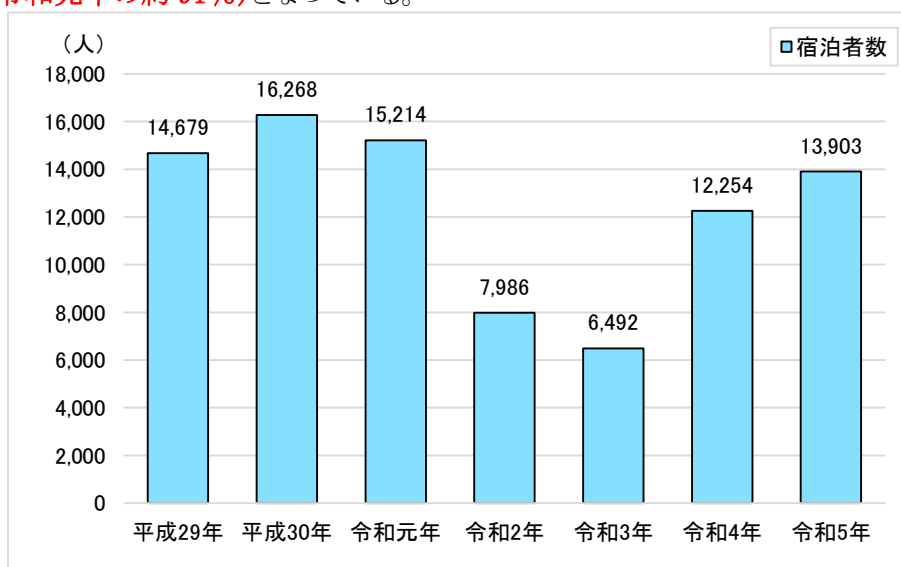
桜島ビジターセンター利用者は、令和元年までは 10 万人程度で推移していたが、令和 2 年に 3 万人程度（令和元年の約 31%）まで減少し、**令和 5 年には約 8 万人（令和元年の約 80%）**となっている。



資料: 令和 5 年 鹿児島市観光統計

図 桜島内観光施設等の利用者数の推移

国民宿舎レインボー桜島の宿泊者数は、令和元年までは 1 万 5 千人～1 万 6 千人程度で推移していたが、令和 3 年に 6 千人程度（令和元年の約 43%）まで減少し、**令和 5 年には約 1 万 4 千人（令和元年の約 91%）**となっている。



資料: 鹿児島市

図 国民宿舎レインボー桜島の宿泊者数の推移

3.1.4 鹿児島市における海外観光客の動向

外国人宿泊観光客数は、新型コロナウイルス感染症の影響で、令和3年では約8,000人(令和元年の約1.6%)まで減少し、**2023年(令和5年)には約22万人(令和元年の約44%)**となっている。

- 令和5年の本市の外国人宿泊観光客数は、21万6,930人で前年に比べ19万4,587人増(前年比870.9%増)となった。
- 国・地域別の内訳では、韓国4万2,301人(構成比19.5%)が最も多く、次いで香港3万7,746人(同17.4%)、台湾3万4,058人(同15.7%)、中国2万7,333人(同12.6%)、アメリカ1万4,751人(同6.8%)と続いた。

(単位:人)

国・地域 年	韓国		中国		台湾		香港		アメリカ		その他		合計
	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数	構成比	人数
平成19年	21,898	42.1%	4,081	7.9%	2,073	4.0%	7,764	14.9%	3,826	7.4%	12,341	23.7%	51,983
平成20年	18,696	36.8%	3,105	6.1%	2,639	5.2%	8,151	16.1%	4,107	8.1%	14,060	27.7%	50,758
平成21年	12,719	30.4%	2,816	6.7%	2,412	5.8%	7,188	17.2%	3,939	9.4%	12,715	30.4%	41,789
平成22年	36,842	46.0%	7,839	9.8%	5,825	7.3%	5,683	7.1%	5,254	6.6%	18,600	23.2%	80,043
平成23年	16,906	32.6%	6,310	12.2%	4,403	8.5%	4,375	8.4%	3,461	6.7%	16,435	31.7%	51,890
平成24年	21,919	28.0%	8,115	10.4%	13,111	16.7%	9,144	11.7%	5,024	6.4%	21,077	26.9%	78,390
平成25年	20,844	21.6%	7,970	8.3%	24,305	25.2%	8,236	8.5%	6,171	6.4%	28,971	30.0%	96,497
平成26年	17,032	13.5%	15,946	12.6%	33,689	26.7%	21,470	17.0%	5,849	4.6%	32,326	25.6%	126,312
平成27年	23,911	12.2%	34,106	17.5%	46,640	23.9%	36,774	18.8%	7,334	3.8%	46,616	23.9%	195,381
平成28年	22,910	8.6%	51,661	19.3%	56,972	21.3%	84,282	31.6%	8,322	3.1%	42,978	16.1%	267,125
平成29年	32,674	9.3%	60,914	17.3%	60,484	17.1%	118,665	33.6%	7,722	2.2%	72,377	20.5%	352,836
平成30年	85,126	21.9%	59,636	15.4%	66,842	17.2%	113,186	29.1%	8,509	2.2%	55,072	14.2%	388,371
令和元年	62,834	12.7%	84,951	17.2%	64,916	13.2%	149,349	30.3%	11,775	2.4%	119,199	24.2%	493,024
令和2年	3,458	5.3%	13,441	20.6%	11,744	18.0%	21,205	32.5%	1,827	2.8%	13,571	20.8%	65,246
令和3年	562	7.0%	1,324	16.5%	72	0.9%	96	1.2%	859	10.7%	5,112	63.7%	8,025
令和4年	3,173	14.2%	1,966	8.8%	1,385	6.2%	1,877	8.4%	2,569	11.5%	11,373	50.9%	22,343
令和5年	42,301	19.5%	27,333	12.6%	34,058	15.7%	37,746	17.4%	14,751	6.8%	60,741	28.0%	216,930
対前年比	1,233.2%		1,290.3%		2,359.1%		1,911.0%		474.2%		434.1%		870.9%

資料:令和5年 鹿児島市観光統計

■外国人宿泊観光客数の推移

3.1.5 外国人宿泊客の動向

鹿児島市内の訪問観光地では、**桜島が83.1%と最も多い**。また、過去に日本には来ているが、**初めて鹿児島市を訪れた観光客の90.5%、2回以上鹿児島市を訪れている観光客の70.7%と、いずれも鹿児島市内における訪問観光地として桜島が最も多い結果**となっている。

図表－2 調査設計と回収状況（ヒアリング調査【外国人宿泊客】）

調査対象	鹿児島市内に宿泊した16歳以上の外国人観光客
調査方法	調査員による聞き取り調査（一部自己記入） ※調査票は4言語翻訳票を使用（中国語簡体字・中国語繁体字・韓国語・英語）
調査地点	JR鹿児島中央駅（改札前）、鹿児島空港（国際線ターミナル）※香港エクスプレス
調査期間	令和5年8～9月の8日間 JR鹿児島中央駅（改札前） [8/26(土)・27(日)・9/2(土)・3(日)・9(土)・10(日)・16(土)・17(日)] 鹿児島空港（国際線ターミナル） [8/28(月)・30(水)・9/4(月)・6(水)・11(月)・13(水)・18(月)・20(水)]
回収数	242サンプル（台湾14サンプル・香港153サンプル・中国21サンプル・韓国10サンプル・その他の国44サンプル）

- 鹿児島市内での訪問観光地は「桜島」（83.1%）が最も多く、次いで「仙巖園」（48.8%）、「城山展望台」（42.6%）、「かごしま水族館」（31.8%）の順となっている。
- 国別にみると、香港では「桜島」が9割弱と多い。また、台湾では「桜島」「仙巖園」共に7割強となっている。

図表－53 鹿児島市内の訪問観光地

		調査数	桜島	城山展望台	西郷隆盛像	仙巖園	かごしま水族館	南郷南洲顕彰館	維新ふるさと館	歴史ロード維新ふるさと館	その他	も観光地ではないここに	無回答
全体		n=242	83.1	42.6	13.2	48.8	31.8	3.3	5.0	6.6	10.7	7.0	1.2
国	台湾	n=14	71.4	64.3	7.1	71.4	7.1	-	7.1	-	-	-	-
	香港	n=153	86.9	41.8	13.7	50.3	37.3	2.6	5.9	4.6	13.7	7.2	0.7
	中国	n=21	85.7	42.9	9.5	52.4	38.1	-	4.8	14.3	-	9.5	-
	韓国	n=10	60.0	30.0	10.0	30.0	20.0	20.0	-	10.0	10.0	10.0	-
	その他	n=44	77.3	40.9	15.9	38.6	20.5	4.5	2.3	11.4	9.1	6.8	4.5
来日状況	初来日	n=29	82.8	37.9	10.3	48.3	31.0	-	-	10.3	3.4	6.9	-
	来日リピーターで初来鹿	n=137	90.5	48.9	12.4	56.9	34.3	2.9	3.6	5.1	13.9	5.1	-
	来鹿リピーター	n=75	70.7	33.3	16.0	34.7	28.0	5.3	9.3	8.0	8.0	9.3	4.0

媒体【テレビ・雑誌・ガイドブック等】の具体名（自由記述）

YouTube [20件]
Instagram [8件]
Facebook [6件]
その他SNS [5件]（香港エクスプレス、ライクジャパン等）
雑誌・ガイドブック [4件]（旅行ガイドブック）
オンラインラケット、テレビ・ラジオ（大河ドラマ、旅番組） [各3件]
トリップアドバイザー、Googleのロコミサイト、香港旅遊 [各2件]

出典：鹿児島市観光消費額調査・マーケティング分析報告書 資料編（令和6年2月）

図 鹿児島市内の観光地

- ・ 来訪して感動したことや良かったことの具体的な内容は下表の通りであり、「風景・自然景観」「人柄」との意見が多くあげられている。
- ・ 一方、来訪して残念だったことや不満なことの具体的な内容は下表の通りであり、「交通アクセス」や「案内・サービス」との意見が多くあげられている。

図表－69 鹿児島市に来訪して感動したことや良かったことの具体的な内容

記入件数順位	具体的内容（主な自由記述回答）
1	風景・自然景観 [42件]（美しい、自然豊か）
2	人柄 [41件]（親切、礼儀正しい）
3	食事 [38件]（食べ物がおいしい）
4	桜島 [33件]（火山）
5	おもてなし [27件]（サービス・対応が良い）
6	温泉 [15件]
7	観光地 [9件]（仙巖園、かごしま水族館）
8	交通アクセス [7件]
9	環境が良い [4件]（きれい）
10	宿泊先 [2件]
10	天気が良かった [2件]

図表－70 鹿児島市に来訪して残念だったことや不満なことの具体的な内容

記入件数順位	具体的内容（主な自由記述回答）
1	交通アクセス [36件]（乗り換え、便の少なさ、待ち時間）
2	案内・サービス [18件]（言葉が通じない、英語表記、観光案内）
3	閉店が早い [13件]
4	気候 [9件]（暑い・雨）
5	食事 [3件]
6	ゴミ箱・喫煙所が少ない [2件]
6	観光地 [2件]（少ない）
6	宿泊施設 [2件]

出典：鹿児島市観光消費額調査・マーケティング分析報告書 資料編（令和6年2月）

図 鹿児島市で感動したことや、残念だったことなど

- ・ 鹿児島市の推奨意向（知人に来訪を勧めたいか）10点満点のうち、9～10点と高得点を付けた人（推奨者）が5割弱（47.9%）を占める。国別で見ると、推奨者の割合が中国では6割、香港では半数を占める。

図表－74 鹿児島市観光の推奨意向

		調査数	(0判 6点)	(7立 8点)	(推 9奨 者 1 0 点)	無 回 答
全体		n=242	8.7	43.4	47.9	-
国	台湾	n=14	14.3	57.1	28.6	-
	香港	n=153	4.6	45.1	50.3	-
	中国	n=21	4.8	33.3	61.9	-
	韓国	n=10	30.0	50.0	20.0	-
	その他	n=44	18.2	36.4	45.5	-
来 日 来 鹿 状 況	初来日	n=29	20.7	44.8	34.5	-
	来日リピーターで初来鹿	n=137	8.0	46.7	45.3	-
	来鹿リピーター	n=75	5.3	37.3	57.3	-

出典：鹿児島市観光消費額調査・マーケティング分析報告書 資料編（令和6年2月）

図 推奨意向

3.2 桜島 WEB アンケート調査

3.2.1 実施概要

新型コロナウイルス感染症の第5類への移行後における桜島に関する意向を把握し、令和4年調査との違いを整理するとともに、施設導入検討の基礎資料とするために、WEBアンケートを実施した。

実施期間	令和6年9月18日(水)～19日(木)
対象者	300人 ①鹿児島県内:120(市は不問) ②鹿児島以外の九州地方:120(熊本県:40 宮崎県:40 福岡県:40) ③関東地方:60(東京都:20 神奈川県:20 埼玉県:20) ※過去に桜島を訪れたことがある人を対象

3.2.2 調査結果

1) 属性

問 あなたご自身について教えてください。

(1) 性別

性別では、「女性」より「男性」の回答が多く、約70%を占めている。

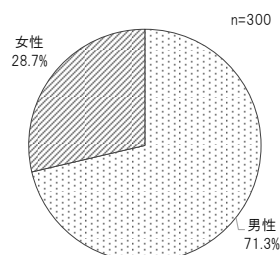


図 性別

(2) 年代別

年代別では、最も多いのは「50代(31.7%)」で、次いで「60代(30.3%)」、「40代(17.7%)」となっている。

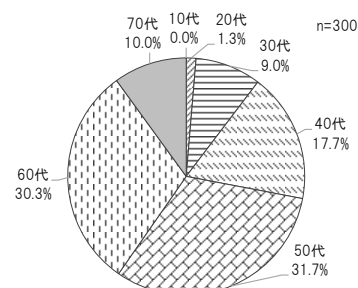


図 年代別

2) 桜島への訪問回数

問 鹿児島県の桜島へは過去に何回くらい訪問されましたか。

(1) 全体

桜島への訪問回数で最も多いのは、「6回以上(43.7%)」で、次いで「2～3回(26.7%)」となっている。

今回の調査では、回答者の80%以上が複数回来訪している結果となった。

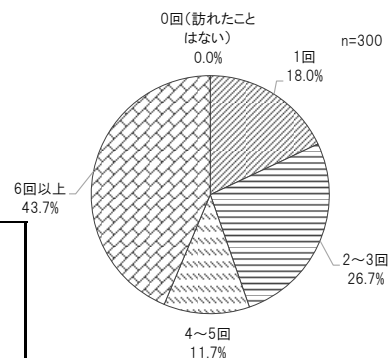


図 桜島への訪問回数

表 桜島への訪問回数(年代抜粋)

		n	0回 (訪れたことはない)	1回	2回 3回	4回 5回	6回以上
全体		300	0	54	80	35	131
		100.0	0.0	18.0	26.7	11.7	43.7
年代	30代	27	0	4	6	4	13
		100.0	0.0	14.8	22.2	14.8	48.1
40代		53	0	12	16	4	21
		100.0	0.0	22.6	30.2	7.5	39.6
再訪意向	また行きたい	261	0	38	69	34	120
		100.0	0.0	14.6	26.4	13.0	46.0
行つつもりはない		39	0	16	11	1	11
		100.0	0.0	41.0	28.2	2.6	28.2

a) 年代「30代」と「40代」×桜島への訪問回数

「30代」と「40代」のどちらも、最も多い桜島への訪問回数は「6回以上」と回答している。

b) 再訪意向の「また行きたい」×桜島への訪問回数

「また行きたい」方の最も多い桜島への訪問回数は「6回以上」と回答している。

3) 再訪意向

問 再度、桜島に行きたいと思いませんか。

約90%の人が、「また行きたい」と回答しているが、これは、アンケート対象者の抽出条件として、過去に桜島に来訪したことがある人を抽出しているため、高くなっていると考えられる。

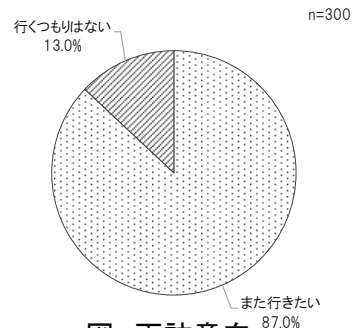
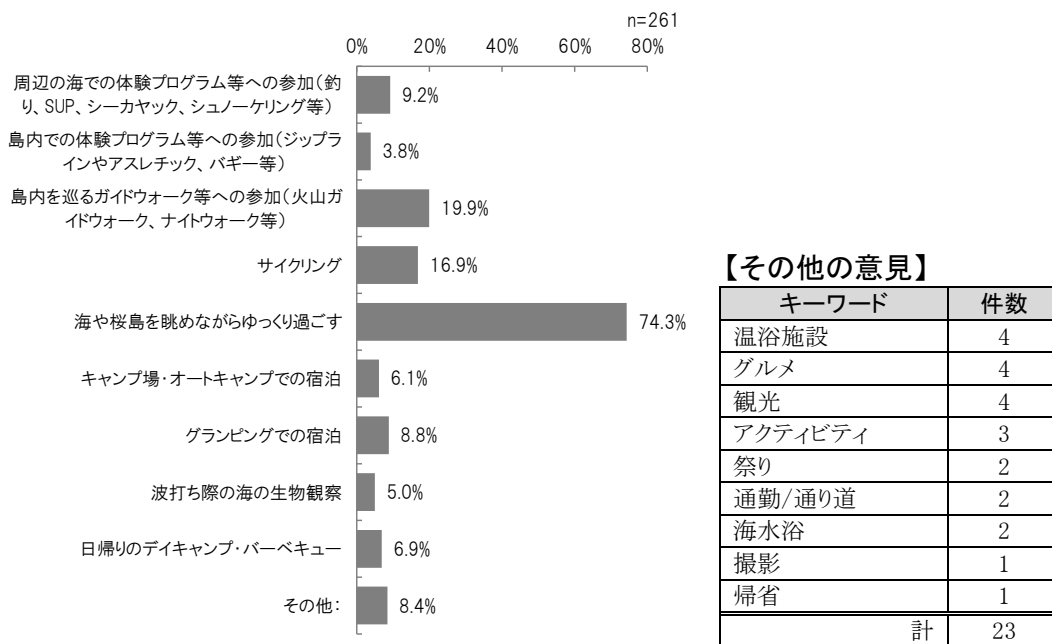


図 再訪意向

4) 「また行きたい」を選んだ方で、今後体験してみたいこと

問 前問で、「また行きたい」を選んだ方にお聞きます。桜島で、今後、体験してみたいことを次の中から2つまで選んでください。

今後体験してみたいことで最も多いのは、「海や桜島を眺めながらゆっくり過ごす(74.3%)」で、次いで「島内を巡るガイドウォーク等への参加(火山ガイドウォーク、ナイトウォーク等)(19.9%)」となっている。約70%の方が、ゆっくり過ごしたいと回答している。



【その他の意見】

キーワード	件数
温浴施設	4
グルメ	4
観光	4
アクティビティ	3
祭り	2
通勤/通り道	2
海水浴	2
撮影	1
帰省	1
計	23

図 今後体験してみたいこと

5) 前問で、選択した今後体験してみたいことの具体的な内容、イメージについて(自由記述)

問 前問で選んだ体験についてお聞きます。今後、体験してみたいことの具体的な内容、イメージをお書きください。

キーワード別集計では、1つ目の体験してみたいこととして、「のんびり・リフレッシュ」が最も多く、次いで「観光」、「眺める(展望)」となっている。

2つ目の体験してみたいこととして、「観光」「のんびり・リフレッシュ」が同数で最も多く、次いで「キャンプ・ピクニック・バーベキュー」となっている。

1つ目と2つ目を総合してみると、「のんびり・リフレッシュ」が最も多く、次いで「観光」、「眺める(展望)」となっている。

【今後、体験してみたいこと】 ■:1位 ■:2位 ■:3位

キーワード	1つめの件数	2つめの件数	総合
観光	35	26	61
島一周(観光)	13	2	15
ガイド(観光)	11	3	14
海・山(火山)	22	13	35
ドライブ・ツーリング	11	2	13
サイクリング	17	7	24
ウォーキング・ジョギング・マラソン	18	10	28
キャンプ・ピクニック・バーベキュー	12	21	33
温泉・足湯	29	16	45
のんびり・リフレッシュ	48	26	74
飲食・宿・道の駅・公園	28	20	48
眺める(展望)	34	20	54
アクティビティ	15	6	21
釣り	8	9	17
その他	15	9	24
計	316	190	506

6) 体験施設をつくる場合に理想とする施設の名称(自由記述)

問	<p>すべての方にお聞きます。 桜島に問4・問5のような体験施設をつくる場合、理想とする施設があれば、その名称をお書きください。(回答例:「〇〇県にある△△△パーク」など)。</p>
---	---

理想とする施設をキーワード別に集計すると、「キャンプ・グランピング・バーベキュー」が最も多く、次いで「宿泊施設」、「公園・テーマパーク・展望所」となっている。
それぞれのキーワードで、具体的な施設として以下があげられている。

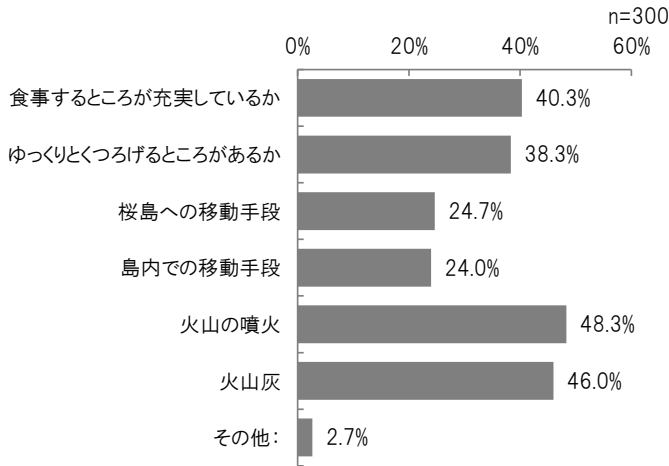
【理想とする施設】 ■:1位 ■:2位 ■:3位

キーワード	具体施設	件数
キャンプ・グランピング・バーベキュー	<ul style="list-style-type: none"> ・魚梁瀬森林公園オートキャンプ場(高知県安芸郡馬路村) ・スノーピーク 都城キャンプフィールド(宮崎県都城市) ・蔵迫温泉さくら 貸コテージ&オートキャンプ場(熊本県阿蘇郡南小国町) ・山鳥の森オートキャンプ場(熊本県阿蘇郡南小国町) ・グランドーム瀬戸内しまなみ(広島県尾道市) など 	23
宿泊施設	<ul style="list-style-type: none"> ・西武プリンスホテルズ&リゾート 日南海岸 南郷プリンスホテル(宮崎県日南市) ・阿蘇ファームランド(熊本県阿蘇郡南阿蘇村) など 	20
公園・テーマパーク・展望所	<ul style="list-style-type: none"> ・明治百年記念展望塔[千葉県立富津公園](千葉県富津市) ・奄美市大浜海浜公園(鹿児島県奄美市) ・国営ひたち海浜公園(茨城県ひたちなか市) ・都井岬(宮崎県串間市) など 	17
商業施設	<ul style="list-style-type: none"> ・L'isola Terrace Amakusa[リゾラテラス天草](熊本県上天草市) ・AOSHIMA BEACH PARK[青島ビーチパーク](宮崎県宮崎市) など 	14
体験(アクティビティ)スポーツ	<ul style="list-style-type: none"> ・フォレストアドベンチャー・三島スカイウォーク(静岡県三島市) など 	11
温泉(街)	<ul style="list-style-type: none"> ・古湯温泉 	9
ガイドツアー・トレッキング、ウォーキングコース	<ul style="list-style-type: none"> ・えびの高原池めぐりの森(宮崎県えびの市) ・屋久島観光協会[屋久島ガイド名鑑](鹿児島県熊毛郡屋久島町) など 	9
火山(桜島)を感じる	-	9
教育	<ul style="list-style-type: none"> ・洞爺湖有珠山ジオパーク(北海道伊達市、豊浦町、壮瞥町、洞爺湖町) など 	4
ドライブ・サイクリング	-	3
その他	-	18
	計	137

7) 桜島で特に気になること

問 すべての方にお聞きします。
桜島に行こうと思う時、特に気になることは何ですか。(いくつでも)

桜島で特に気になることは、「火山の噴火(48.3%)」で、次いで「火山灰(46.0%)」となっている。
約半数の方が火山について特に気にしていることが伺える。



【その他の意見】

キーワード	件数
目的地にはならない	1
外国人の多さ	1
東京からの遠さ	1
温泉	1
計	4

図 桜島で特に気になること

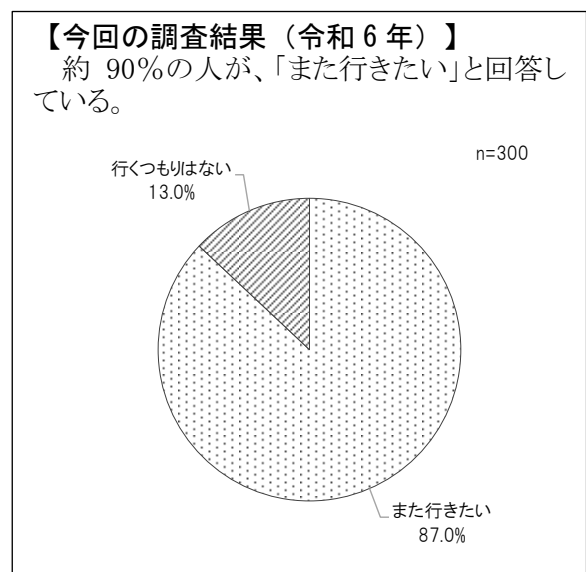
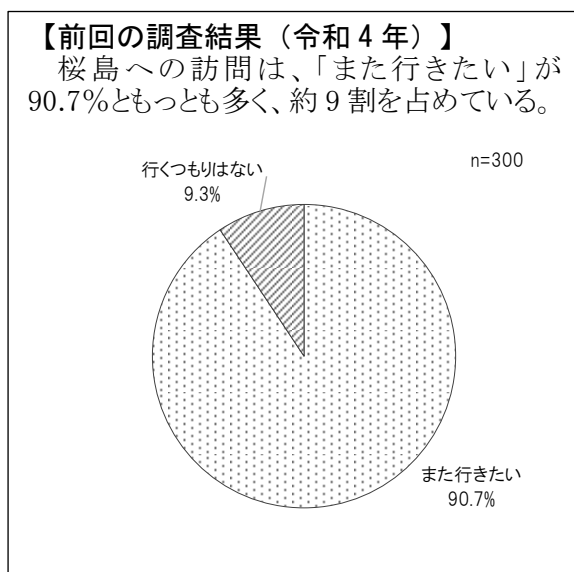
3.2.3 令和4年調査結果との比較

新型コロナウイルスの影響により、全国的に観光動向に大きな影響があった令和4年の状況に対し、第5類への移行後の現在(令和6年)の状況を比較した。

結果として、**桜島への来訪意向や、今後体験してみたいことの上位2番目までは変化していない。**

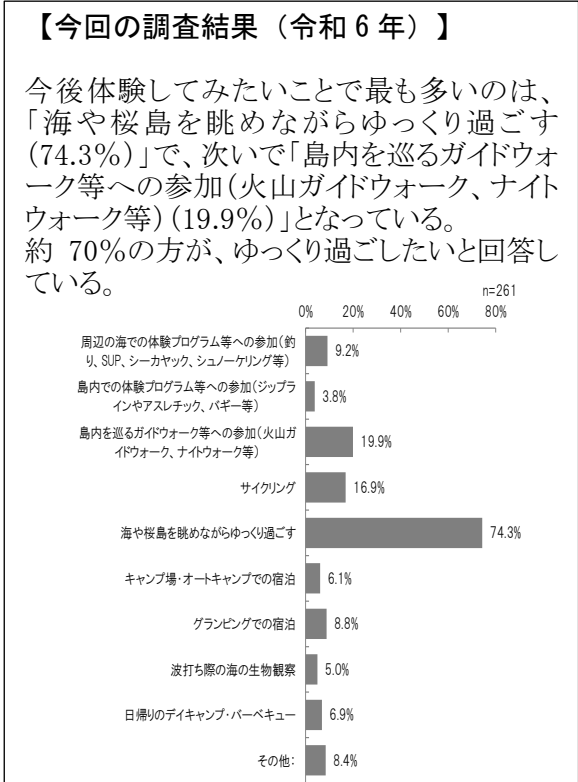
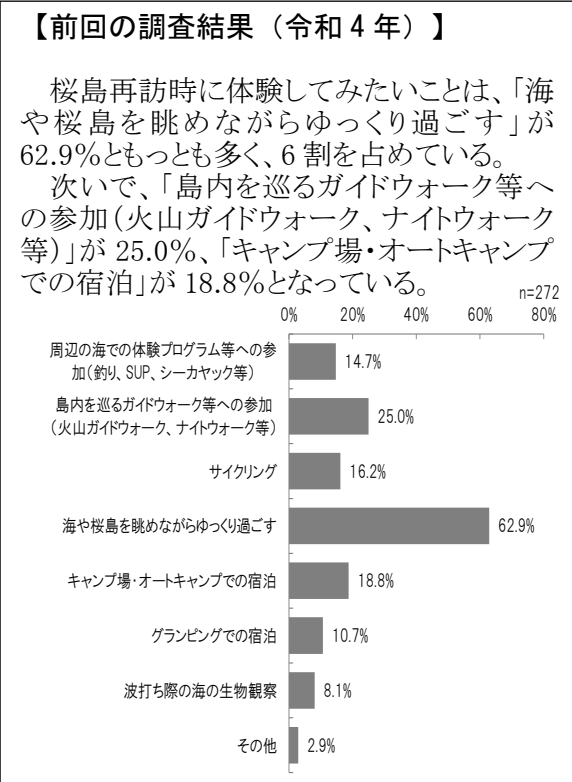
問 再度、桜島に行きたいと思いませんか。

桜島への来訪意向について、**令和4年と令和6年で変わらず、約9割の方が「また行きたい」との回答**となっている。



問 前問で、「また行きたい」を選んだ方にお聞きします。
桜島で、今後、体験してみたいことを次の中から2つまで選んでください。

桜島で今後体験してみたいことは、令和4年と令和6年で変わらず、「海や桜島を眺めながらゆっくり過ごす」が6〜7割で最も多く、次に、「島内を巡るガイドウォーク等への参加(火山ガイドウォーク、ナイトウォーク等)」が2割程度となっている。なお、3番目は、令和4年では「キャンプ場・オートキャンプでの宿泊」となっていたが、令和6年では「サイクリング」となった。



4 法規制及び上位計画の確認

4.1 自然公園法

1) 自然公園法と桜島のあゆみ

桜島を含む錦江湾地域の自然公園法上の扱いは、今から約70年前に、指宿、佐多岬等とともに錦江湾国立公園に指定された時点から始まった。一時、屋久島地域と一体的に指定されていた期間もあったが、現在は、火山活動を起源とした景観を有する地域の中心として霧島錦江湾国立公園に指定されている。

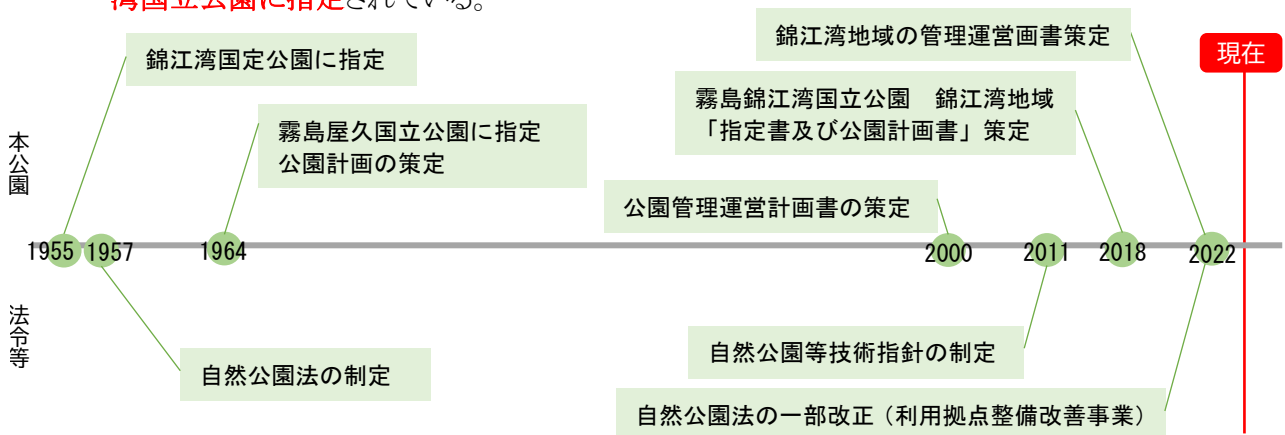
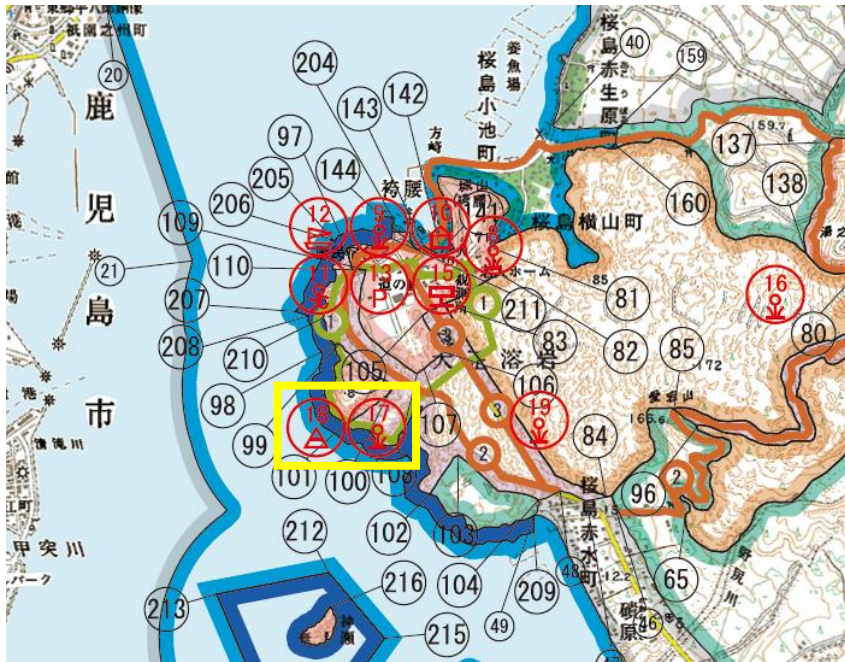


図 自然公園法と桜島のあゆみ

2) 計画地の該当する利用計画

本計画地は、「公園計画(規制計画・事業計画)」及び「管理運営計画」が定められており、事業計画上は、**公園計画(野営場、園地)**が設定されている。また規制計画では、第2種特別地域に位置付けられている。



出典：霧島錦江湾国立公園(錦江湾地域)区域及び公園計画全体図(桜島・奥錦江湾地区)

(令和2年3月作成/環境省・九州地方環境事務所)

図 霧島錦江湾国立公園(錦江湾地域)区域及び公園計画図(桜島・奥錦江湾地区)

3) 導入可能な付帯施設

計画地周辺は、自然公園法に基づいた利用施設計画の中で、「園地」又は「野営場」と位置付けられているが、現段階では、より幅広く多様な機能の導入が可能な「園地」での整備を想定している。

また、「園地」の整備方針として、「**溶岩原の展望と火山の観察の場として整備する。**」と示されており、下表に、管理運営計画書に示されている「園地」で整備することができる付帯施設を示す。

国立公園「園地」に導入可能な付帯施設一覧

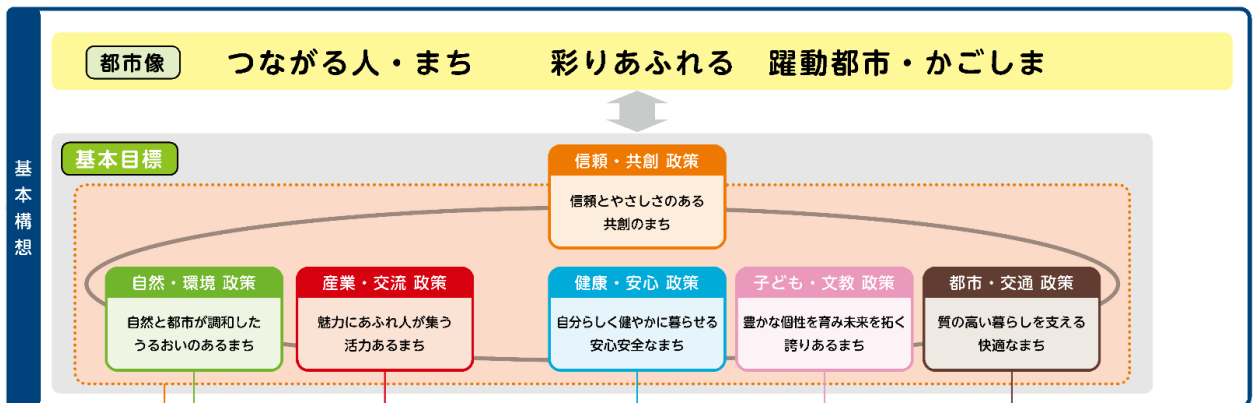
種類	具体的な施設イメージ
休憩所	レストラン、カフェ、フードコート、パブ、屋内遊び場等
展望施設	
案内所	物産館、直売等
野営場	キャンプ場(コテージ、グランピング含)、デイキャンプ場、BBQ サイト等
野外の運動場(小規模なものに限る)	フィットネス、スポーツ施設、屋外の広場、既存林内アスレチック等
水泳場	プール等
舟遊場(小規模なものに限る)	水辺の栈橋、デッキ等
スケート場(小規模なものに限る)	—
駐車場	
公衆浴場	スパ、温浴施設、サウナ等
公衆便所	
野外劇場及び植生復元施設	

4.2 上位計画

1) 第六次鹿児島市総合計画(令和4年5月)

第五次鹿児島市総合計画を引き継ぎ、令和4年度から、令和13年度までの10年間の基本目標と、令和4年度から、令和8年度の前期5年間と、令和9年度から令和13年度の後期5年間に分けて施策の基本的方向及び施策体系を示している。

また、**目指す都市像を「つながる人・まち 彩りあふれる 躍動都市・かごしま」として、6つの基本目標を掲げている。**



基本目標

◇[都市像]を実現するための基本目標

1 信頼とやさしさのある 共創のまち

【信頼・共創政策】



市民や地域団体、大学、事業者、行政など多様な主体が協働・連携し、新しい価値をともに創るまちづくりを進めるとともに、健全な財政を維持し、効率的で質の高い行政サービスを展開します。

国内外の都市との連携や交流を進めるとともに、効果的な情報発信やシンビッドプライド^{※1}の醸成などにより、まちの魅力を高め、広めます。

性別や年齢、国籍などに関係なく、一人ひとりの人権や多様性が尊重され、個性と能力を発揮できる地域社会を築きます。

※シンビッドプライド：まちに誇りをもち、よりよいまちにするためにまちづくりなどに積極的に関わることを意識のこと。

2 自然と都市が調和した うるおいのあるまち

【自然・環境政策】



CO₂排出量の削減や再生可能エネルギーの地産地消、省エネルギーなどの環境に配慮した生活スタイルへの転換を進め、市民みんなでゼロカーボンシティ^{※1}かごしまの実現を目指します。

3R^{※2}の推進によるごみの減量化・資源化や適正な処理を進め、資源が循環する地域社会を築きます。

生物多様性の保全・活用や水と緑豊かな美しいまちづくりに取り組み、人と自然が共生し、うるおいと安らぎを感じられる環境を整えます。

※1 ゼロカーボンシティ：2050年までにCO₂排出量を実質ゼロにすることを目標とする自治体のこと。
 ※2 3R：Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)の3つの総称。

3 魅力にあふれ人が集う 活力あるまち

【産業・交流政策】



世界に誇れる多彩な魅力を生かした観光・交流を進めるとともに、誰もがスポーツを楽しむことができる環境を整え、国内外から多くの人が集うまちをつくります。

街なかにおける商業・観光などの魅力を創出し、にぎわいと活気を高めます。

地域産業の活力の創出や海外展開、農林水産業の振興を進めるとともに、雇用を創出し、若者の地元就労促進など担い手の確保に取り組むほか、多様で柔軟な働き方を促進し、地域経済を活性化します。

4 自分らしく健やかに暮らせる 安心安全なまち

【健康・安心政策】



健やかな暮らしを支える福祉サービスを充実するとともに、高齢者や障害者をはじめ、市民一人ひとりが、ともに支え合い、生きがいを持って自分らしく生活できる地域づくりを進めます。

健康づくりや感染症対策の強化、医療体制の確保などにより、保健・医療を充実し、健康寿命を延ばします。

交通安全や防犯対策など、生活の安全性を高める取組を進めるとともに、災害などから市民の生命・身体・財産を守るために、危機管理体制や防災力・消防力を強化し、安心して安全に暮らせるまちをつくります。

5 豊かな個性を育み未来を拓く 誇りあるまち

【子ども・文教政策】



市民の結婚、妊娠・出産、子育ての希望をかなえる支援を充実するとともに、未来の力となる子どもたちの明るく健やかな成長を支え、安心して子どもを育てられるまちづくりを進めます。

子どもたちが夢と希望を持って、限らない可能性に挑戦できるよう、学校・家庭・地域・事業者などが連携・協働しながら、確かな学力、豊かな心、健やかな体を育む教育を進めます。

誰もが、生涯にわたって学び続けることができる環境を整えるほか、文化芸術や歴史に親しむことのできる市民文化を創造します。

6 質の高い暮らしを支える 快適なまち

【都市・交通政策】



コンパクトなまちの実現を目指すとともに、住宅団地の活性化や街なかの整備、良好な景観づくりを進め、機能性の高い都市空間を形成します。

生活道路や上下水道など、市民の暮らしを支える生活基盤について、既存のインフラなども有効に活用しながら効果的な整備を進め、誰もが暮らしやすいまちをつくります。

広域交通ネットワークの形成や、効率的で持続可能な公共交通体系の構築により、すべての人が使いやすい、快適・便利な交通環境を整えます。

出典：第六次鹿児島市総合計画

基本目標を実現するための、地区別前期基本計画(令和4年度～令和8年度)として、桜島地域では、**桜島が有する様々な資源を活かしたレクリエーションの促進や受け入れ体制の充実等**の基本的な方向性を示している。

VI 桜島地域



現状と課題

- 錦江湾に浮かぶ火山活動が活発な桜島にあり、地域内のほとんどが溶岩原、森林及び原野で、住宅地は海岸線に沿って帯状に続いています。
- 人口は減少傾向で、老年人口比率が全市で最も高くなっています。
- ほぼ全域が霧島錦江湾国立公園と県の名勝に指定されており、自然海岸や溶岩原などの桜島独自の貴重な自然環境や景観資源を有しています。
- 豊かな自然環境の中で、ビワ、桜島小みかん、桜島大根など特産農産物の生産、子牛生産や肥育経営のほか、カンパチ、ブリの養殖などが行われています。
- 桜島・錦江湾ジオパークの主要なエリアであり、桜島港周辺に集約されている観光・レクリエーションの拠点となる施設やジオサイトを生かした体験型観光の推進が必要です。
- 生活航路である桜島フェリーと桜島港周辺における陸上交通との連携を図り、幹線道路の整備などを進めるとともに、地域の生活拠点において、日常生活に必要な施設の充実を図る必要があります。
- 桜島の活発な火山活動が継続する中、日常的な降灰対策をはじめ、避難施設等の維持、避難計画の見直しや防災訓練などに取り組んでおり、今後想定される大規模噴火時においても犠牲者ゼロを目指してハード・ソフトの両面から防災対策のさらなる充実が必要です。



錦江湾に浮かぶ桜島



桜島小みかん



桜島火山爆発総合防災訓練(住民避難訓練)

出典：第六次鹿児島市総合計画



基本的方向

- 桜島が有するジオの特性を生かした自然と人が共生する体感的な観光・レクリエーションの促進や受入体制の充実を図ります。
- 地域の生活拠点において、生活利便施設の立地誘導を図るほか、陸上交通機関との連携や幹線道路の整備促進、災害時の避難道路の整備など交通環境の改善を図ります。
- 桜島の大規模噴火等に備えるため、市民及び関係機関との連携により、避難計画の実効性向上、避難施設等の適切な維持管理など、安全かつ確実な避難体制を構築するとともに、治山事業や砂防事業等を促進するなど、防災対策を推進します。
- 農地や森林の保全・活用に努めながら、地域の特性を生かした農業振興や防災営農対策の推進、農村集落の生活環境の改善を図るとともに、地域活力の維持・増進、グリーン・ツーリズムの推進及び漁業の振興を図ります。
- 公共施設の有効活用を図るとともに、地域課題の解決に向け、住民と行政がともに力を発揮できるまちづくりを進めます。



主な施策・事業

- 桜島・錦江湾ジオパークにおける活動の推進や新島などのジオサイトの活用
- 湯之平展望所、有村溶岩展望所、「桜島」溶岩なぎさ公園足湯などを活用した観光振興
- よりみちクルーズ船の運航及びサクラジマアイランドビューの運行・活用
- 土地利用ガイドプランに基づくまちづくりの推進
- 国道224号、県道桜島港黒神線の整備促進
- 大規模噴火等に備えた桜島火山爆発総合防災訓練の実施及び避難施設等の維持管理
- 特産農産物の生産振興及び都市型農業の振興、降灰等に対する防災営農対策事業の実施
- グリーン・ツーリズムの推進
- 桜島総合体育館や桜島溶岩グラウンドなどの活用
- 改新交流センターの活用
- さくらじま地域おこし協力隊の活動支援
- セーフコミュニティの推進
- 地域コミュニティ協議会の活動支援

出典：第六次鹿児島市総合計画

2) 第二次かごしま都市マスタープラン(2022年3月)

本拠点計画地周辺は、**自然環境保全・活用ゾーンに設定**されている。自然環境保全・活用ゾーンの土地利用方針は、「**農山村地域の一団の農地や、山林、自然海岸などの自然環境の保全・活用を図る地区**」とされている。

都市づくりの基本理念

基本理念1 成熟した持続可能な都市づくり

「都市経営」の観点から、都市の活力を生み出す取組を進めます。

基本理念2 多様な主体による協働の都市づくり

「地域共創」の観点から、地域の価値を向上させる取組を進めます。

都市づくりの基本目標

基本目標1 コンパクトで暮らしやすい都市

- 中心市街地や地域の拠点などに都市機能を誘導するとともに、交通の利便性の高い地域などに居住を誘導することによって、歩いて暮らせるコンパクトなまちづくりを推進します。
- 公共施設等は、長期的な視点をもって、更新や長寿命化等を計画的に行うとともに、整備・運営に民間の資金などの導入を推進します。
- 増加する空き家や空き地等は、都市づくりの資源として活用を図ります。

基本目標2 快適で移動しやすい都市

- 主要幹線道路の整備促進などにより、市民活動を支える道路交通環境の形成を図ります。
- 利便性・効率性が高い公共交通環境の形成を図ります。
- 誰もが安全で快適に移動できる交通環境の形成や、車中心から人中心への交通環境の転換を図ります。

基本目標3 にぎわいと活力のある都市

- 中心市街地等への都市機能の集積により、県都としてふさわしい広域的な拠点形成を図ります。
- 居心地がよく歩きたくなる環境づくりや地域資源を活用した観光振興などにより、都市の活力の向上を図ります。
- 産業の成長を促進させる都市づくりを進めるとともに、新たな生活様式に対応した多様で柔軟な働き方を促進する仕組みづくりや、未来の活力となる次世代を育む生活環境の形成を図ります。

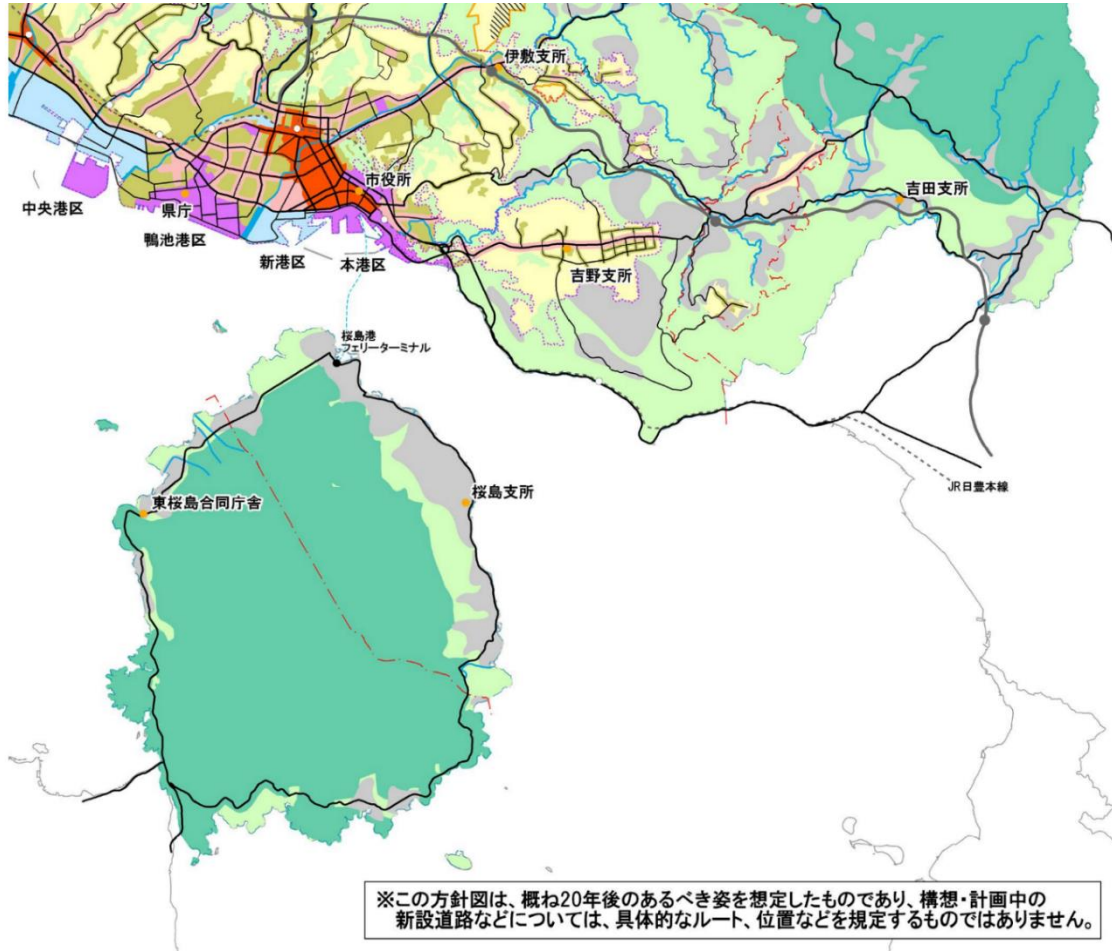
基本目標4 安心・安全な都市

- 風水害、桜島爆発・降灰や地震・火災などの災害に強い都市の形成を図ります。
- 大規模な自然災害が発生した際には早期に復旧・復興ができる都市の形成を図ります。
- 空き家等の対策や地域の防犯体制の向上など、暮らしの安全などに配慮した都市の形成を図ります。

基本目標5 自然・歴史・文化を生かした都市

- 歴史・文化資源や自然環境を保全・活用して良好な都市景観や自然環境と触れ合う場などを形成し、魅力あふれる都市の形成を図ります。
- 緑豊かな美しい都市づくりに取り組み、うるおいと彩りを感じられる環境の創出を図ります。
- 「ゼロカーボンシティかごしま」の実現に向けて、脱炭素型の環境に配慮した効率的な都市の形成を図ります。

出典:第二次かごしま都市マスタープラン








中心商業・サービスゾーン	「商業・サービス機能」などの高度な集積を生かし、都市拠点の形成を図る地区
広域交流・業務ゾーン	「観光交流機能」、「スポーツ・娯楽レクリエーション機能」、「業務機能」などの集積を生かし、交流拠点の形成を図る地区
地域商業・サービスゾーン	日常生活に必要な「商業・サービス機能」の集約により地域の生活拠点の形成を図る地区
職住共生ゾーン	都市型住宅を中心とした多機能的で利便性の高い居住環境の形成を図る地区
生活環境保全ゾーン	低層住宅を中心とした良好な居住環境の維持・保全を図る地区
複合産業ゾーン	「産業・物流機能」や「港湾業務機能」を中心とした複合的な土地利用を図る地区
工業ゾーン	「工業機能」の保持・増進を図る地区
田園集落ゾーン	農業生産環境と調和した集落環境の維持・保全を図る地区
自然環境保全・活用ゾーン	農山村地域の一団の農地や、山林、自然海岸などの自然環境の保全・活用を図る地区
自然公園・森林ゾーン	自然公園区域などの優れた山林自然環境の保全を図る地区

出典：第二次かこしま都市マスタープラン










地域別のまちづくり構想で示す桜島地域に係る方針等を以下に示す。

◆地域のまちづくり構想


-  桜島支所周辺の拠点機能の充実と東桜島合同庁舎周辺などにおける生活利便性の確保
-  国道 224 号の整備促進などによる交通の円滑化や公共交通機関の連携による利便性の向上
-  広域的な観光・レクリエーションゾーンとしての魅力の向上
-  火山防災対策の充実による桜島と共生したまちづくりの推進
-  桜島や錦江湾などの豊かな自然環境の保全・活用

◆整備方針（ゾーン毎）


田園集落ゾーン

-  地域生活拠点における拠点機能の充実に向けた生活利便施設の誘導の検討
-  地域東部における良好な集落機能を維持するための「市街化調整区域における住宅建築等に関する条例」の運用
-  東桜島合同庁舎周辺の集落核における店舗などの生活利便施設の誘導に向けた都市計画提案制度による地区計画の活用などの検討
-  桜洲小学校周辺の集落核における店舗などの生活利便施設の立地誘導の検討
-  地域西部における農漁業生産環境と調和した土地利用の誘導に向けた、都市計画区域などの指定の検討
-  桜島港周辺における観光・レクリエーション機能の充実に向けた既存施設や低未利用土地の活用
-  農漁村集落の生活環境の改善に向けた道路の計画的な整備
-  避難港としての機能の充実に向けた野尻港や白浜港などの改修の推進
-  桜島港周辺における桜島の玄関口にふさわしい街並みの形成に向けた景観形成重点地区指定の検討

自然環境保全・活用ゾーン

-  桜島や錦江湾などの雄大な自然環境の活用

自然公園・森林ゾーン





















-  桜島独自の貴重な自然環境の保全

-  地域生活拠点
-  集落核
-  都市計画区域
-  河川
-  主要幹線道路

◆整備方針図



◆整備方針（地域全体）

-  公共空間を多様な用途に活用するための取組の検討
-  空き家・空き地の民間資源の活用
-  改新交流センターの活用
-  国道 224 号・県道桜島港黒神線の整備促進
-  エリアマネジメントの促進
-  体感的な観光・レクリエーションの推進
-  湯之平展望所・有村溶岩展望所・溶岩なぎさ公園足湯などの活用
-  桜島総合体育館・桜島溶岩グラウンドなどの活用
-  よりみちクルーズ船の運航及びサクラジマアイランドビューの運行・活用
-  崖地に近接する住宅の移転促進
-  急傾斜地崩壊対策事業の推進及び治山事業・砂防事業の促進
-  降灰の早期除去体制の維持や降灰除去事業の推進
-  桜島火山観測研究体制の維持・避難体制の充実及び避難施設などの維持管理
-  災害時の拠点や災害廃棄物の仮置場としての公共施設等の活用
-  危険な空き家等の解体などの促進
-  市民や事業者などとの協働による緑化の促進
-  公園の再整備や安全対策の推進
-  裾野にひろがる溶岩原や錦江湾などの霧島錦江湾国立公園の恵まれた自然環境の保全
-  火の島めぐみ館の活用
-  合併処理浄化槽の設置促進

出典：第二次かごしま都市マスタープラン

3) 第4期鹿児島市観光未来戦略(令和4年3月)

訪れる人の感動・暮らす人の幸せをつくる持続可能な観光地となっていくための“稼ぐ観光”の実現に向けて、主体となる事業者・市民・行政など観光に関係するすべての人々が共有する基本目標を掲げている。

また、稼ぐ観光の実現のために、観光客数の増加、消費単価の増加を掛け合わせて地域経済循環を高めることで経済波及効果を最大化することとしている。

訪れる人の感動・暮らす人の幸せをつくる“稼ぐ観光”の実現 ～ 世界を魅了するまち KAGOSHIMA ～

POINT

■「稼ぐ観光」の考え方

観光産業の需要増により、観光分野の雇用創出や経営革新が期待され、観光が本市経済を安定的に支える産業の一つとなること、それが「稼ぐ観光」の趣旨であり、第3期戦略に引き続き、その実現を目指します。

■「稼ぐ観光の実現」のために

① 経済波及効果の最大化

経済波及効果の最大化には、観光客数(=「量」)に消費単価(=「質」)を掛け合わせることで算出される観光消費額を高めることや、より域内(市内(県内))の食材等を活用し地域経済循環を高めることが重要です(※17頁のイメージ参照)。



② 観光客数の増加

年間を通じた集客力の高いイベント等による国内外からの観光客数(宿泊・日帰)の増加に加え、より深く鹿児島を味わっていただくことで、滞在日数(延べ宿泊観光客数)を増やし、また、顧客満足度向上や鹿児島ファン拡大により再訪につなげることが重要です。

③ 消費単価の増加

高付加価値化・差別化、価値に応じた価格設定や、少しでも長く鹿児島に滞在していただくことで、消費単価(宿泊・日帰)の増加を目指すことが重要です。

④ 地域経済循環を高める

消費されるサービスの農産品を含む原材料の生産や加工、販売の各段階が市内(県内)で行われることが、地域への波及効果を高めます。地域内の連関(域内調達率)を高め、オール鹿児島のサービスを提供することは、地域経済への好影響があるだけでなく、鹿児島らしさの提供にもつながります。

上記図中の※印は、第4期鹿児島市観光未来戦略に記載されているものである。

出典: 第4期鹿児島市観光未来戦略

目標として、新型コロナウイルス感染症で落ち込んだ観光消費額を、令和8年までに新型コロナウイルス感染症前の令和元年の水準に戻していくことを目指している。

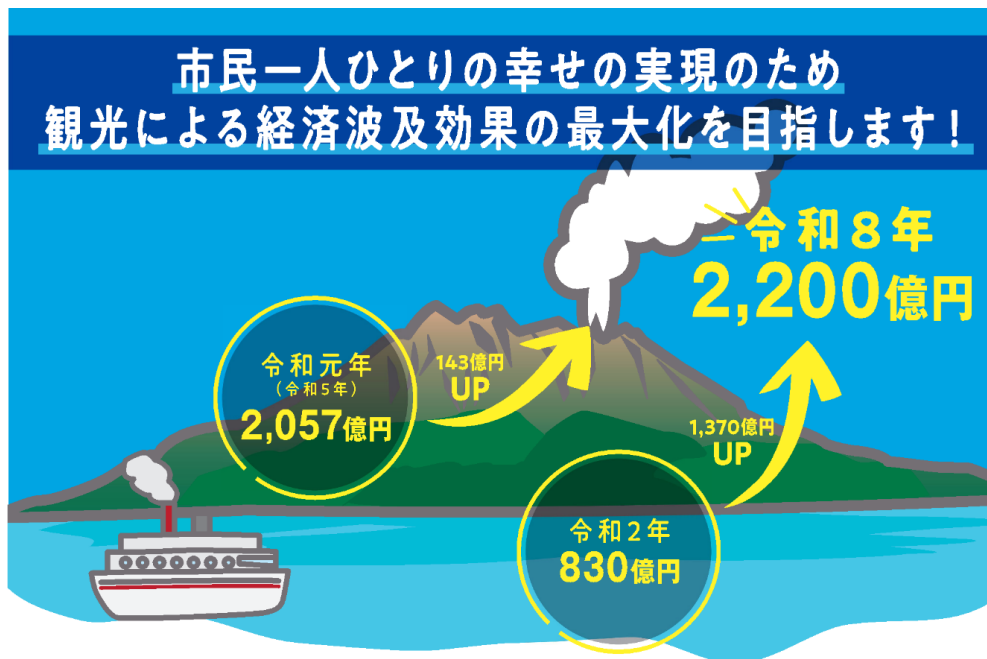
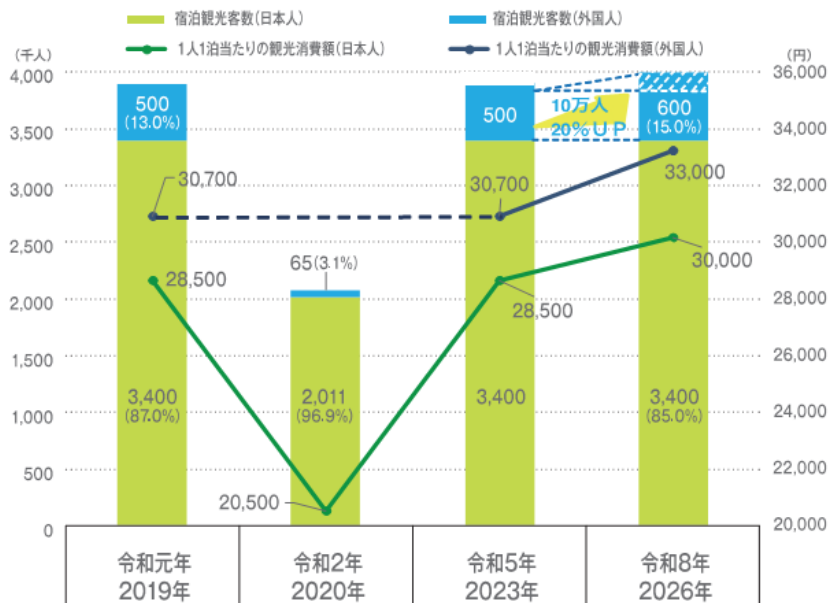


図5 宿泊観光客数(左軸)、1人1泊あたりの観光消費額(右軸)の推移



出典: 第4期鹿児島市観光未来戦略

▲桜島をとりまく観光動向の変化

●鹿児島市の観光動向

- ・新型コロナウイルス感染症の影響により大きく落ち込んでいた観光需要も同感染症の第5類への移行後、**以前の状態にもどつつある。**
- ・鹿児島市に初めて訪れた観光客、**2回以上訪れている観光客のいずれも訪問観光地として桜島が最も多い。**

●桜島の観光動向

- ・サクラジマアイランドビュー（桜島周遊バス）年間利用者は、**令和元年の約16万人**から、新型コロナウイルス感染症の影響により**約3万人まで減少し、令和5年には約15万人**となっている。
- ・国民宿舎レインボー桜島の年間宿泊者数は、**令和元年までは1万5千人～1万6千人程度で推移していたが、新型コロナウイルス感染症の影響により令和3年に6千人程度まで減少し、令和5年には約1万4千人**となっている。

●外国人の観光動向

- ・**外国からの来訪者数も多く**なっており、令和5年には、前年比約8.7倍。新型コロナウイルス感染症前の令和元年が約50万人であり、その約44%となる約22万人となっている。
- ・ヒアリング調査結果では、鹿児島市に**初めて訪れた観光客、2回以上訪れている観光客のいずれも訪問観光地として桜島が最も多い。**

●WEB調査によるニーズ把握

- ・**桜島への再来訪意向は約9割**と高い。
- ・桜島で体験したいことについては、「**海や桜島を眺めながらゆっくり過ごす**」が**6～7割で最も多い**。次いで「**島内を巡るガイドウォーク等への参加（火山ガイドウォーク、ナイトウォーク等）**」が多いが、3番目は令和4年で「**キャンプ場・オートキャンプでの宿泊**」となっていたのに対し、**令和6年では「サイクリング」**となっている。
- ・「海や桜島を眺めながらゆっくり過ごす」の具体的なイメージでは、「**のんびり・リフレッシュ**」「**観光**」等のキーワードが多い。
- ・再来意向の割合及び桜島で体験したいことについては、令和4年の調査と今回の調査で大きな変化はない。

▲国立公園の公園計画

- ・桜島は霧島錦江湾国立公園（錦江湾地域）に指定されている。計画地は、公園事業の施設計画において「**野営場、園地**」として**事業決定を受ける必要がある。**
- ・整備にあたっては、自然公園法の手続きに沿って事業を進める。

▲鹿児島市上位計画

- ・**桜島が有するジオの特性を生かした自然と人が共生する体感的な観光・レクリエーションの促進や受入体制の充実**
（第六次鹿児島市総合計画）
- ・**広域的な観光・レクリエーションゾーンとしての魅力の向上**
（第二次かごしま都市マスタープラン）
- ・**訪れる人の感動・暮らす人の幸せをつくる“稼ぐ観光”の実現**
（第4次鹿児島市観光未来戦略）

▲桜島のポテンシャル

- ・**火山と日常生活が融合**した世界的に高い知名度
- ・**国内国外を問わず高い来訪意向**
- ・火山や豊かな錦江湾を活かした、**ここでしかできない体験**
- ・鹿児島市街地からの**高いアクセス性**

整備コンセプト

桜島アドベンチャートラベル はじまりの場所

鹿児島市街地に近接し気軽に訪れられる場所でありながら、活火山と生活が隣り合った、桜島ならではの魅力をじっくり体験

整備方針

観光客や市民が桜島の魅力を体験するための観光拠点となり、桜島での長時間滞在を促し、桜島地域のにぎわい創出につながる施設

主なターゲット

- 九州全域、関東・関西等の都市部の本物志向のファミリー層
- 桜島及び錦江湾の自然をおもいきり体感したいアクティブ層
- 世界でも珍しい火山観光に訪れたインバウンド観光客を含む来訪者

主な機能

桜島の魅力を体感するために必要な機能を「レクリエーション」「食」「買い物」「滞在」「交通」と設定

5.1 導入機能と施設イメージ

本拠点施設で提供するサービスは、桜島だからこそ体験できるアクティビティを中心に考え、そのアクティビティに必要な施設の整備を行う必要がある。

整備する施設は、鹿児島市の上位計画で定められた土地利用に基づきつつ、**国立公園としての立地を踏まえて、自然公園法に適合する施設であることが必要**となる。

下表に、桜島自然体験アクティビティ拠点における、**主なターゲットの過ごし方や、展開が想定されるアクティビティ及び整備することが有効と考えられる施設イメージ**を示す。

機能	拠点施設での過ごし方	想定されるアクティビティ例	施設イメージ
レクリエーション	桜島（火山）を知る	<ul style="list-style-type: none"> 桜島内のみどころや、拠点施設の内容を把握 火山周辺のウォーキングイベント等 桜島内での既存アクティビティへの参加受付 	案内所
	錦江湾を体感する	<ul style="list-style-type: none"> 錦江湾を眺めながら、誰もが安全で快適に泳いだり、プールサイドでくつろぐ ダイビングや SUP、シーカヤック等の水辺でのマリンレジャーを楽しむ（既存マリンレジャーと連携） 水辺で錦江湾の水際の生き物を観察 	プール（水泳場） 海岸沿いの木デッキ 海辺へのアクセス路 水上アスレチック
	周辺の緑を体感する	<ul style="list-style-type: none"> 周辺の林や広場で自然を感じながら体を動かして楽しむ 	林内のアスレチック遊具 多目的広場
	イベントを楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> 季節や時間帯に応じて開催されるプログラムを楽しむ 	屋外ステージ（野外劇場）
食	桜島の食を楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> 地域の食材を使って作られた食事を味わう 	レストラン フードコート キッチンカー広場
	食材を自分で調理して楽しむ	<ul style="list-style-type: none"> 購入した食材を、その場で手軽に自分で調理して食べる 	売店（食料品） BBQ サイト（道具貸し出し）
買い物	桜島の特産品を購入する	<ul style="list-style-type: none"> 購入した特産物を現地から自宅等に発送する その場で食べて味を実感する 	売店（土産物屋）
滞在	桜島の自然に囲まれてゆっくりと過ごす	<ul style="list-style-type: none"> 錦江湾を眺めながらゆっくり滞在する 拠点以外の周辺を歩いたり自転車等で周遊するために荷物を預ける 桜島の自然を身近に感じながらカジュアルに宿泊する 桜島を長期に楽しむため、仕事をしながら滞在する 桜島ならではの資源を活用し心身を整える 	カフェ バブ 駐車場 ロッカー キャンプ場（コテージ、グランピング舎） デイキャンプサイト ワークーション施設 温浴施設（サウナ、スパ）
交通	快適にアクセス及び移動する	<ul style="list-style-type: none"> 自家用車でなく自転車等で手軽に移動する 桜島港から快適に移動する 	レンタルモビリティ（レンタサイクル、セグウェイ等）

5.2 土地利用イメージ

5 整備コンセプト及び 5.1 導入機能と施設イメージを踏まえ計画予定地及び周辺の立地等から考えられる活用イメージの一例を右図に示す。

既存遊歩道 既存散策路を活用

想定する機能：交通（歩行・パーソナルモビリティ等）

既存の散策を活用し、歩行者等の車両以外の移動用の通路として来訪者が安全で、快適に利用できる移動ルートを確認。



海辺の小広場 水際の既存平地を活用

想定する機能：食・滞在

散策路沿いの敷地側の部分的な平地を活用。錦江湾の水辺を近くに感じ、また見晴らしも良い立地を生かして、ゆったりと食事や喫茶が行える場を想定。



錦江湾を望む水際 錦江湾を活用

想定する機能：レクリエーション

水辺のアクティビティを行う場合等に誰でも近づきやすいルートを確認する。



アクセスルート 既存アクセスルートを活用

想定する機能：交通（自家用車によるアクセス路等）

既存のアクセスルートを活用し、自家用車が安全に通行できるような、幅員や舗装化を想定する。



動線結節点 既存散策路と展望台等を活用

想定する機能：食・買い物・滞在

主要アクセスルートと散策路が交わる場所であり、広場や斜面にも近接し、計画地の中心的な場としての活用が考えられる。



広場 灰の堆積場及び周辺林地を活用

想定する機能：レクリエーション・滞在

桜島の火山灰を集積した広場部は、平坦な広場となっており、多目的な利用が可能。また、広場の東側に隣接した既存林部の活用も考えられる。



錦江湾を望む斜面 既存溶岩の斜面を活用

想定する機能：滞在

水際から広場にかけてなだらかな傾斜の斜面から錦江湾を望むことができる。夜になると鹿児島市街地の夜景も望める。ダイナミックな眺望を楽しみながらゆっくり滞在できる。

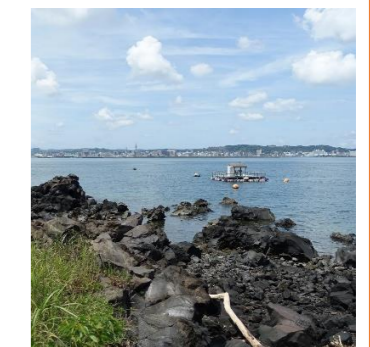


図 土地利用イメージ

6 観光拠点のアクティビティ及び整備イメージ

6.1 既存アクティビティの確認




桜島で体験できる具体的なアクティビティは、桜島観光ポータルサイトで紹介されており、以下の一覧は、桜島観光情報サイト「みんなの桜島」を参考に作成した。

計画地では、**現在桜島で体験できる既存のアクティビティとの連携の可能性**も含めて検討していく。

<参考>みんなの桜島(NPO 法人桜島ミュージアム) <https://www.sakurajima.gr.jp/experience.html>

表 桜島で体験できるアクティビティ一覧

カテゴリー	アクティビティイメージ	内容
陶芸・アート体験		桜島溶岩焼の制作 桜島の火山灰を釉薬に利用した「桜島溶岩焼」は、独特の光沢が美しいのが特徴です。鹿児島名物の焼酎用陶磁器「黒千代香(くろじょか)」や土瓶もあり、焼酎好きにおすすめ。また、オリジナル陶器を作れる陶芸体験も楽しめます。
		絵付け体験 桜岳陶芸の陶芸体験は、所要時間はわずか30分からと短時間で楽しめるため、体験学習や修学旅行、卒業旅行、社員旅行などの団体様にも大変好評です。子供から大人まで幅広い年代が楽しめる内容で、観光バス駐車場も完備しております。
		桜島 火山灰アート体験 桜島の火山灰を使ったサンドアート体験はいかがでしょう？カラフルに着色した火山灰で、自由にキャンバスをアレンジする楽しさを味わえます。桜島観光の合間に気軽に参加でき(所要時間 20分～)、作った作品は、お持ち帰りいただけます。
サイクリングツアー		桜島ダイヤモンドを見にいこう！ 朝の桜島が見せる特別な景色をEバイクで巡るサイクリングツアー。昼間とは異なる静かな桜島の朝を感じながら絶景ポイントへ。朝日が昇る瞬間の「桜島ダイヤモンド」と呼ばれる約3分間の天体ショーを体感しませんか？
		スペシャルトレイルライド 本ツアーでは、特別に許可を得たガイドとともに、防災技術が駆使された野尻川を進み、安全に火口付近まで近づきます。火山の息吹や地球の生命力を直に感じると同時に、自然と人間が共存する姿について学ぶことができる唯一無二の体験です。

カテゴリー	アクティビティイメージ	内容
サイクリングツアー		<p>大正溶岩周遊ライド 本ツアーでは、噴火の歴史や島の人々が歩んできた物語をたどります。ツアーのゴールは、桜島の立入禁止区域外で最も高い場所にある湯之平展望所。そこから広がる鹿児島島の雄大な自然は圧巻の眺めです。</p>
		<p>桜島一周まるごと探検！ 活火山・桜島は、歴代の大噴火が残した痕跡が島中に点在している「天然の博物館」です。このツアーでは桜島を一周し、島全体に刻まれた火山の歴史とその全貌をじっくり探ることができます。</p>
自然散策 ・ウォーキング		<p>桜島火山ガイドウォーク 火山ガイドと一緒に溶岩なぎさ遊歩道を散策し、「桜島ってどんなところ？」を楽しく学べるツアーです。実際に遊歩道を歩きながら、噴火の痕跡や溶岩、植物などを間近で見て触れ、桜島の魅力を体感しましょう！</p>
		<p>ガイドと行く桜島満喫コース サクラジマアイランドビューバスに乗り、ガイドと一緒に桜島の見どころを巡る人気のコースです。途中、火山のミニ博物館「桜島ビジターセンター」や、桜島最高地点の展望所「湯之平展望所」に立ち寄り、現地散策を楽しみます。</p>
カヤック・SUP 体験		<p>桜島半日カヤックツアー 桜島で、大地の躍動を感じるシーカヤックを体験してみませんか？海中には溶岩流や火山と共生する珊瑚、さらに湧き出る温泉など、陸と海の両方で火山地帯ならではの景色を楽しむことができます。</p>
		<p>桜島を見ながらの SUP 体験 SUP は特別な技術や体力がなくても楽しめるマリンスポーツです。最初は座ったまま、慣れれば立ったり寝転んだり自由自在。SUP で心も体もリフレッシュしませんか？</p>
		<p>2 ビーチファンダイビング 鹿児島市内からフェリーで約 30 分、桜島で特別なダイビング体験！午前・午後の 2 本プランで、初心者も大歓迎。イソギンチャクの群生やアカオビハナダイなど、ここならではの海中世界を体験しませんか？</p>

カテゴリー	アクティビティイメージ	内容
カヤック・SUP 体験		<p>泳げなくても安心スノーケリング 泳げなくてもスノーケリングなら安心！ウェットスーツの浮力で沈まず、簡単なレクチャー後に浅い海で練習できます。6 歳以上から参加可能で家族にもおすすめ。アクアトリップでは海中からのサポートも実施し、安全で楽しい体験を提供します。</p>
収穫体験		<p>桜島大根の収穫体験 桜島の特産品である桜島大根は、ギネス認定の世界一大きい大根です。無農薬で育てられた桜島大根の収穫や農業体験が楽しめ、『Cafe しらはま』では収穫した食材を使ったランチも堪能できます。</p>
		<p>みかん狩り・びわ狩り 桜島は古くからみかんやびわが有名な地域。温暖な気候と火山の恵みを受けたおいしい果物狩りが楽しめます。4 月～5 月はびわ狩り、9 月下旬～12 月は甘い温州みかんや世界一小さい桜島小みかんを収穫可能です。</p>
その他		<p>桜島と天文館満喫ツアー 桜島の大自然でこれまでにない感動を体験！日本最大級の 100m もある長～い足湯で心と身体を癒した後は、鹿児島最大のショッピング街・天文館へ。ここでしか味わえないローカルな食事とショッピングをたっぷり満喫できるツアーです！</p>
		<p>2 階建てオープンバス 鹿児島初の屋根なし 2 階建てバスが、土日祝日限定で鹿児島市内や桜島を巡ります。屋根のないダイナミックな風景と潮風を一緒にお楽しみください。バスガイド付きで、ゴーグルやマスクの準備があり、降灰時も安心です。</p>

Copyright © みんなの桜島. All Rights Reserved.

6.2 事業のスケジュールと進め方のイメージ

1) 事業スケジュール

現時点における事業のスケジュールは以下を予定している。

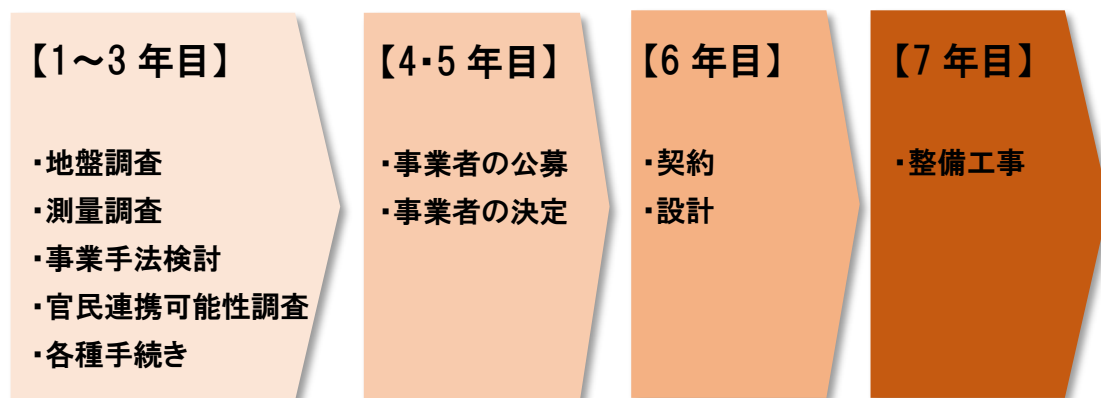


図 事業スケジュールイメージ

2) 進め方のイメージ

事業手法については、民間事業者のノウハウ等を活用した官民連携による事業手法で実施することを基本とし、今後具体的な検討を行う。

7 用語解説

P1	アクティビティ	趣味やレジャー活動としての行動で、スポーツ、旅行、アウトドア活動等。
P3	バックヤード	維持管理に必要な資材や機器を保管したり、作業中に発生する廃棄物や不要物を一時的に保管する場所等。
P5	観光消費額	観光客が交通費、宿泊料、土産品代、飲食代、入場料、体験型観光メニューなどに消費した観光消費の総額。
P13	SUP	「Stand Up Paddleboarding(スタンドアップパドルボーディング)」の略。大きなボードの上に立ち、パドルを使って水面を進むアクティビティ。
	シュノーケリング	シュノーケル(呼吸用のパイプ)、マスク、フィン等を用いて、水面または比較的浅い水中を游泳するアクティビティ。
	ジップライン	ワイヤーロープやスチールケーブルに滑車を取り付けて、自重で滑り降りるアクティビティ。
	バギー	砂地、泥道、山道など、オフロードを走行できる四輪車。
P17	スパ	温泉、プール、ジャグジー、エステ、フィットネス、ヨガなど、心身の健康維持・回復・増進に繋がる様々なサービスを提供する施設。
	植生復元施設	自然環境が、人為的な影響や自然災害によって損なわれた場合に、その植生を回復させるための施設。
P18	シビックプライド	まちに誇りを抱き、よりよいまちにするためにまちづくりなどに積極的に関わろうとする意識のこと。 (第六次鹿児島市総合計画より引用)
	ゼロカーボンシティ	2050年までにCO2排出量を実質ゼロにすることを目指す地方自治体のこと。 (第六次鹿児島市総合計画より引用)
	3R	Reduce(リデュース)、Reuse(リユース)、Recycle(リサイクル)の3つのRの総称。 (第六次鹿児島市総合計画より引用)
P19	ジオパーク	地質学的な遺産を保護し、科学教育や防災教育の場とするほか、新たな観光資源として地域の振興に生かすことを目的としたユネスコの正式事業。 (第六次鹿児島市総合計画より引用)
P20	グリーン・ツーリズム	緑豊かな農山漁村地域において自然、文化、人々との交流を楽しむ滞在型の余暇活動のこと。 (第4期鹿児島市観光未来戦略より引用)
P21	地域共創	複数の主体が協働して地域を創造する取組み。 (第二次かごしま都市マスタープランより引用)
P23	エリアマネジメント	地域における良好な環境や地域の価値を維持・向上させるための市民・事業者などによる主体的な取組み。 (第二次かごしま都市マスタープランより引用)

P24	域内調達率	販売商品やサービスの原材料等を域内から仕入れる割合。 (第4期鹿児島市観光未来戦略より引用)
	産業連関表	一定期間(通常1年間)において、財・サービスが各産業部門間でどのように生産され、販売されたかについて、行列(マトリックス)の形で一覧表にとりまとめたもの。 (第4期鹿児島市観光未来戦略より引用)
P26	アドベンチャートラベル	アクティビティを通じて地域の自然・文化を体験することにより、旅行者自身が、未体験の多様な価値観に触れ、旅行者自身の内面に変化がもたらされるような旅行スタイル。
	インバウンド	外国人が訪れてくる旅行のこと。日本へのインバウンドを訪日外国人旅行または訪日旅行という。 (第4期鹿児島市観光未来戦略より引用)
P27	ワーケーション	Work(仕事)と Vacation(休暇)を組み合わせた造語。テレワーク等を活用し、リゾート地や温泉地、国立公園等、普段の職場とは異なる場所で余暇を楽しみつつ仕事を行うこと。 (第4期鹿児島市観光未来戦略より引用)
	セグウェイ	立ち乗りで、車輪が2つ並んだ並行二輪車の商品名。アクセルハンドルなどはなく、操縦は乗り手が体重移動によって行う。
P28	パーソナルモビリティ	1~2人乗りで近距離を移動する電動の小型車両の総称。
P29	ポータルサイト	インターネットにアクセスする際に、最初に訪問するウェブサイト。